

其五 諸勤務ノ習得充分ノ結果ヲ得ス若クハ疾病ノ爲メ士官學校ヘ分遣シ得サルモノニシテ後來望ミナキ者及疾病若クハ傷痕ニ因リ一時服役ニ堪ヘサル者

其六 士官學校條例第二十一條其一其五ニ依リ退校歸隊シテ後來望ミナキ者

其七 士官學校條例第二十一條其二其三其四ニ依リ退校歸隊セシ者

其八 卒業試験ヲ受クルヲ得スシテ歸隊セシ者

其九 卒業試験ニ落第シテ歸隊セシ者

其十 本條例第二十三條ノモノニシテ本條其一乃至其四ニ該ル者

其十一 本條例第二十八條ノ第三項ニ該ル者

其十二 疾病若クハ傷痕ニ因リ常備後備ノ服役ニ堪ヘサル者及永久服役ニ堪ヘサル者

第三十三條 前條其一乃至其十一ニ該ル者ハ士官候補生ヲ免シ其階級ニ應シ本官ニ任シ又ハ兵卒ト爲シ豫備役ニ編入シ其十二ニ該ル者ハ士官候補生ヲ免ス

附則

第三十四條 下士兵卒一年志願兵ニ及教導團生徒ハ當分士官候補生ヲ志願スルコトヲ得但其志願手續ハ本條例中一年志願兵ノ例ニ依ル

第三十五條 屯田歩兵科ノ士官ハ當分札幌農學校兵科ヲ卒業シタル者ニシテ見習士官ヲ命シ六箇月以上隊務ニ服シタル者ヲ以テ補充スルコトヲ得

見習士官ノ取扱并士官ノ任用ノ手續等ハ第二十三條乃至第二十八條及第三十二條ノ例ニ準ス但第二十八條及第三十二條ノ書類ハ之ヲ陸軍大臣ニ進達シ其第三十二條ニ該ル者ハ陸軍大臣ニ於テ見習士官ヲ免ス

勅令第二百三十四號 (明治二十六年十二月十六日)

陸軍幼年學校條例

第一條 陸軍幼年學校ハ陸軍幼年生徒ニ概テ尋常中學ト同一ナル教授並ニ軍人ノ豫備教育ヲ與ヘ陸軍各兵科ノ士官候補生ト爲スヘキ者ヲ養成スル所トス

第二條 本校ニ左ノ職員ヲ置ク



校長 佐官  
 副官 大(中)尉  
 教官 陸軍教授  
 馬術教官 騎兵中尉  
 中隊長 大尉中尉  
 中隊附士官 中尉  
 軍醫  
 軍吏

第三條 校長ハ監軍ニ隸シ校務ヲ總理シ生徒教育ノ責ニ任ス  
 第四條 副官ハ校中ノ庶務ヲ掌リ其下ニ下士及陸軍屬ヲ置ク  
 第五條 教官ハ各學科ノ教授ヲ分擔ス尙ホ教授ノ外助教ヲ置ク  
 第六條 馬術教官ハ生徒馬術ノ教練ニ任ス其下ニ騎兵科下士ヲ置ク  
 第七條 中隊長ハ專ラ訓育ノ事ヲ掌リ中隊附士官ヲシテ其諸科目ヲ分擔セシメ生徒

ヲシテ諸勤務ニ熟セシメ且内務及室内ノ整頓並ニ生徒ノ行狀ヲ監視スルヲ任トス

第八條 中隊附士官ハ中隊長ノ下ニ在テ生徒訓育ノ諸科目ヲ分擔シ殊ニ生徒ノ身上ニ就テハ日常瑣末ノ事件ニ至ルマテ之ヲ監視スルヲ任トス

第九條 中隊附士官ハ總テ校内ノ官舎ニ居住シ生徒ノ監視ニ便ナラシム

第十條 各中隊ニ下副官及下士ヲ置キ下副官ハ中隊ノ庶務ヲ整理シ下士ハ武器、被服、諸給與、炊爨等ノ事ヲ掌リ且ツ劔術及體操ノ助教ヲ分擔ス

第十一條 軍醫ノ下ニ看護長軍吏ノ下ニ書記ヲ置ク

第十二條 生徒ハ官費、半官費、自費ノ三種ニ分ツ

官費生徒ハ一切ノ經費ヲ官給シ且手當金ヲ給ス半官費生徒ハ小被服賄料ノ經費自費生徒ハ被服糧食一切ノ經費ヲ納メシム其金額ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第十三條 戰死シタル平時公務ノ爲メ死亡シタル者モ亦之ニ準ス 將校同相當官、高等文官ノ孤兒ハ官費生徒トス

第十四條 前條ノ外官費生徒、半官費生徒、自費生徒ト爲スヘキ者ハ監軍之ヲ裁定ス



第十五條 前條ノ區分ハ專ラ資産ノ多少ヲ察知シ之ニ應シテ取捨スヘシト雖モ仍ホ左ニ列記スル者ハ特ニ顧慮スヘシ

其一 在職士官ノ子弟

其二 現職ニアラサル上長官ノ子弟

其三 死亡シタル將校同相當官ノ子弟

其四 前三項ニ均シキ高等文官ノ子弟

其五 在職上長官現職ニアラサル將官同相當官ノ子弟

其六 前項ニ均シキ高等文官ノ子弟

第十六條 生徒修學期限ハ三箇年トス而シテ其一年期ハ九月上旬ニ始マリ翌年七月上旬ニ終ル但最終ノ一年期ハ翌年五月中旬ニ終ル

第十七條 生徒ハ之ヲ二中隊ニ編成ス

第十八條 生徒ノ教育ハ之ヲ分テ教授及訓育トシ其課程ハ幼年學校長案ヲ具シ監軍ニ進達シ其認可ヲ得テ之ヲ定ム

第十九條 生徒ハ情願ヲ以テ退校スルヲ許サス

第二十條 第三年生徒中特ニ學術ニ長シ品行方正ニシテ他ノ望標トナルモノ若干員ヲ撰拔シ舍長ヲ命シ特別ノ徽章ヲ附セシム

第二十一條 校長ハ學期末ニ於テ生徒ノ卒業試験ヲ施行シ各教官及中隊長ヲ集メ會議ヲ開キ全學期中ノ諸結果ト卒業試験ノ成績ヲ對照シ序列ヲ定メ考科表ヲ製シ監軍ニ進達シ監軍ノ認可ヲ得テ教則ニ定ムル所ノ課程卒業ノ證書ヲ附與ス其學術品行共ニ優等ナル者ハ同時ニ二等軍曹ノ階級ニ進ルコトヲ得

第二十二條 生徒中定期内ニ卒業シ得サル者ト雖モ尙ホ望ミアル者ハ定期外一箇年延期修學セシムルコトヲ得

第二十三條 生徒中左ノ事項ニ該ル者ハ退校セシム

其一 學術ノ修得全カラス卒業ノ目途ナキ者

其二 軍紀ヲ紊リ又ハ屢々法則ヲ犯ス者

其三 品行不正ニシテ悔悟ノ目途ナキ者



其四 病ニ由リ卒業ノ前途ナキ者  
但自己ノ不攝生ヨリ生セサル長病ニシテ尙ホ卒業ノ見込アル者ハ特別ノ詮議ニ  
附スルコトヲ得

第二十四條 生徒中全學期ヲ終ルモ病氣其他ノ事故ニ因リ士官候補生ト爲スヲ得サ  
ル者ハ單ニ教則卒業ノ證書ヲ附與シ退校セシム

第二十五條 前三條ニ該ル者アルトキハ幼年學校長事由ヲ悉シ監軍ニ上申シ監軍之  
ヲ裁定處分ス

第二十六條 毎年七月中旬ヨリ八月下旬ノ間ニ於テ凡ソ三十日間生徒ニ休暇ヲ與フ  
此間校附諸官ハ教科書編纂訂正等ノ事ニ服ス

第二十七條 毎年六月上旬ヨリ八月下旬マテ中隊附士官若干ヲ師團本科ノ兵隊ニ派  
遣シ隊附勤務ヲナサシム

第二十八條 本校ニ所要ノ馬匹及材料ハ士官學校所要ノモノヲ兼用ス

勅令第九十號 (明治二十二年七月四日)

陸軍幼年學校生徒召募條例

第一條 陸軍幼年學校生徒ハ陸軍出身志願ノ者ニシテ年齢十五年以上十八年以下ノ  
者ヲ召募シ身體檢査及入學試験ノ成績ニ依リ必要ノ人員ヲ採用スルモノトス

第二條 毎年採用スヘキ生徒ノ人員ハ其時々陸軍大臣之ヲ定メ監軍ニ移ス

第三條 生徒召募ノ試験格例ハ毎年監軍之ヲ定メ陸軍大臣之ヲ告達ス

第四條 生徒タランコトヲ志願スル者ハ願書ニ履歷書ヲ添ヘ本籍ノ地方長官寄留ノ  
者ハ其  
地ノ地方長官ニ差出シ地方長官ハ各志願者ノ身分、財產、教育、性質、品行等詳細之ヲ取調

ヘ其證明書ヲ作り之ヲ願書ニ添ヘ其地所管師團長ニ送付ス可シ師團長ハ之ヲ監軍  
ニ進達ス

第五條 志願者ハ前條ノ手續ヲ爲シタル後試験ヲ爲ス之カ爲メ監軍ハ志願者ノ人名  
書ヲ師團長近衛師團  
長ヲ除クニ下シ師團長近衛師團  
長ヲ除クハ之ヲ陸軍將校生徒試験臨時委員ニ下  
付シ該委員ヲ各試験場ニ派遣シテ試験ヲ施行セシム

陸軍幼年學校生徒召募規則自第一條至第五條

廿五年十  
二月勅令  
第百十六  
號參看



廿七年二月  
九號參看

陸軍幼年學校生徒召募規則第六條第七條陸軍六週間現役兵條例第一條 一八〇

第六條 師團長近衛師團長ヲ除クハ試驗前ニ於テ身體檢査ノ時日ヲ定メ之ヲ地方長官ニ通達シ志願者ヲ檢査地ニ召集シ陸軍醫官ヲシテ身體檢査ヲ爲サシメ合格者ノ人名書ヲ陸軍將校生徒試驗臨時委員到着ノ時ニ下付ス  
陸軍將校生徒試驗臨時委員ハ試驗ノ上其書類ヲ師團長近衛師團長ヲ除クニ進達シ師團長近衛師團長ヲ除クハ之ヲ監軍ニ進達ス

第七條 監軍ハ本條例第四條ノ書類ト第六條試驗成績トニ依リ之ヲ裁定シ入校ヲ命ス

勅令第四百一十一號 (明治二十八年十月四日)

陸軍六週間現役兵條例

第一條 徵兵令第十三條第三項ニ依リ六週間陸軍現役ニ服セシムヘキモノハ教職ニ就キタ年若クハ其翌年ニ於テ其居住地師管内ノ步兵隊ニアツテハ警備隊ニ編入シ服役セシム

第二條 六週間現役兵ノ入營期日ハ毎年六月一日トス但疾病其ノ他ノ事故ニ依リ期日ヨリ三日以内ニ入營シ難キモノハ翌年徵集ス

戰時若クハ事變ニ際シテハ其徵集ヲ延ハスコトアルヘシ

第三條 現役服役日數ハ入營期日ヨリ起算ス

第四條 六週間現役兵ノ教育ハ聯隊長獨立大隊ニ在テハ隊長警備隊ニ在テハ司令官以下之ニ倣フ其責ニ任ス

第五條 六週間現役兵中勤務勉勵品行方正ニシテ第二國民兵ヲ以テ編成スル部隊ノ幹部タルヲ得ヘキ材幹アルモノニハ聯隊長其成績ヲ具シ順序ヲ經テ師團長第七師團長ヲ除クニテハ屯田兵司令官ノ認可ヲ受ケ國民軍幹部適任證書ヲ授與ス

第六條 六週間現役兵ノ身體檢査ハ入營スヘキ年ニ於テ一般ノ徵兵檢査ト同時ニ之ヲ行フ徵集ニ適セサルモノハ徵兵檢査規則ニ照シ處分ス

北海道及沖繩縣ニアル者ノ身體檢査ニ關スル規定ハ陸軍大臣別ニ之ヲ定ム

第七條 檢査往復旅費及入營旅費ハ官給ス

附則

陸軍六週間現役兵條例自第二條至第七條



第八條 北海道ニ在ル者ハ第七師管ニ常備歩兵隊ヲ置クマテハ第二師管ノ歩兵隊ニ編入シ服役セシム

第九條 本令ハ明治廿九年四月一日ヨリ施行ス

明治二十二年勅令第二十二號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

陸軍省令第十八號

(明治廿八年十月十一日)

陸軍六週間現役兵條例施行細則

第一條 六週間現役兵ノ身體檢査ハ教職ニ就キタル年居住地最寄ノ大隊區徵兵署、警備隊區徵兵署又ハ檢査所ニ於テ之ヲ行フ但其年ノ入營期日ニ切迫シ若クハ入營期日後教職トナリタルモノハ翌年回トス

第二條 府縣廳ニ於テハ徵兵事務條例施行細則第一様式ニ準シ六週間現役兵名簿ヲ作リ身體檢査ニ先タチ之ヲ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ送付シ檢査ノ手續ヲ協議スヘシ但官立小學校ノ教職モ亦本文同様該校所在府縣ニ於テ取扱フ

ヘシ

第三條 大隊區司令官警備隊區司令官ハ六週間現役兵ノ身體檢査ニ關シテハ尋常徵兵ト同一ノ取扱ヲ爲シ其名簿ヲ旅團長ニ差出シ且其成績ヲ府縣知事ニ通知スヘシ

第四條 旅團長ハ其合格者ニ附錄第一様式ノ合格證書ヲ付與シ其名簿ヲ師團長ニ呈シ其他ハ尋常徵兵同一ノ處分ヲナスヘシ但沖繩縣在籍者ニシテ徵集ニ適セサルモノハ尋常徵兵同一ノ處分ヲ爲スノ限リニ非ス

第五條 師團長ハ合格者在職地ノ遠近ニ應シ適宜之ヲ各隊ニ配付スヘシ

第六條 北海道及沖繩縣ニ在ルモノ、身體檢査ハ左ノ諸項ニ依ルヘシ

- 一 北海道ニ在テハ札幌大隊區司令部沖繩縣ニ在テハ沖繩分遣隊ニ於テ身體檢査ヲ行フ
- 二 北海道廳及沖繩縣廳ニ於テハ教職トナルヘキ年豫メ第二條ニ準シ名簿ヲ作り札幌大隊區司令部又ハ沖繩分遣隊ニ送付スヘシ
- 三 札幌大隊區司令官及沖繩分遣隊長ハ三月一日迄ニ醫官ヲシテ身體檢査ヲ爲サ

陸軍六週間現役兵條例施行細則自第三條至第六條



シメ其名簿ヲ札幌大隊區司令官ヨリハ屯田兵司令官沖繩分遣隊長ヨリハ鹿島大隊區司令官ニ送付シ鹿島大隊區司令官ハ第三條ノ例ニ準シ取扱フヘシ

第七條 身體檢査ノ後敎職ヲ罷メタルモノアルトキハ道廳府縣廳ヨリ直ニ師團司令部又屯田兵司令部ニ通報スヘシ但北海道及沖繩縣ニ在テハ檢査後入營期日迄ニ敎職ヲ命セサルモノアルトキ亦同シ

第八條 身體檢査ヲ受ケタルモノ沖繩縣在籍者ヲ除クハ其ノ年ノ五月三十一日迄ニ合格若クハ其受ケシ處分ヲ本籍所管ノ島司郡市區長ニ届出ヘシ  
本條ノ届出ヲ爲サ、ルモノハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

第九條 條例第五條ニ依リ國民軍幹部適任證書ヲ授與シタルモノアルキハ聯隊長獨立大隊ニ在テハ其隊長ヨリ本籍所管ノ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ通報シ大隊區司令官警備隊區司令官ハ其名簿ヲ調製シ且道廳府廳ニ通報スヘシ  
國民軍幹部適任證書ハ附錄第二樣式ニ準シ調製スヘシ

第十條 國民軍幹部適任證書ヲ授與セラレタル者ニシテ懲戒處分ヲ受ケ又ハ家資分

散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケ若クハ禁錮ノ刑ニ處セラレタルキハ其證書ヲ返還セシム

第十一條 前諸條ニ掲グルモノ、外ハ師團長屯田兵司令官及道廳長官府縣知事協議ノ上之ヲ定ムヘシ

條例第九條ニ依リ第二師管ノ歩兵隊ニ編入スヘキ者ノ取扱ハ屯田兵司令官ヨリ第二師團長ニ協議シ之ヲ定メ陸軍大臣ニ報告シ道廳長官ニ通知スヘシ

第一號樣式

用紙厚紙

陸軍六週間現役兵合格證書

府(縣)郡(市)町(村)  
某(長)次(男)兄(弟)本人戸主ナレハ  
戸主ト記スヘシ  
氏 名

表

陸軍六週間現役兵條例施行細則第十一條第一號樣式



凡曲尺六寸

右検査合格ニ付此證書ヲ付與ス

年月日

職(尊)氏

名 團

凡曲尺六寸

心得

一此證書ヲ所持スルモノ、入營期日ハ六月一日トス

但疾病其他ノ事故ニ依リ期日ヨリ三日以内ニ入營シ難キモノハ翌年  
徴集セラル、モノトス

裏

二戰時若クハ事變ニ際シテハ其ノ徴集ハ延ハスコトアルヘシ  
三、、、、、、、、、、、、

第二樣式 (用紙鳥ノ子紙)

七寸八分

五尺六寸

第 號

國民軍幹部適任證書

府縣族籍

陸軍六週間現役兵 氏 名

八寸二分

陸軍六週間現役兵條例施行細則第二號樣式



國民軍幹部適任ノ者ト確  
認ス

年月日

職官位勳氏 名 印

(此欄以外ノ模様ハ畧ス)

勅令第七十三號 (明治二十六年七月十九日)

陸軍一年志願兵條例

廿八年三  
月勅令第  
三十四號  
參看

第一條 徵兵令第十三條ニ據リ一年志願兵トナル者ハ居住地師管内ニ於テ服役スハ  
キ兵科及衛戍地ヲ撰フコトヲ得但第四條ニ當ル者ハ此限ニ在ラス

第二條 一年志願兵ニハ所屬隊ヨリ糧食、被服、裝具、兵器、彈藥ノ現品ヲ給シ被服費、

裝具費彈藥費及兵器修理費トシテ金六拾貳圓糧食費トシテ金三拾八圓ヲ納メシム  
又騎兵科ニ入ル者ニハ馬匹ヲ貸與シ馬糧費、裝蹄費、剔毛費及馬藥費トシテ更ニ金  
七拾五圓ヲ納メシム以上ノ金額ニテ不足ヲ生スルトキハ之ヲ追徴シ殘餘アルトキ  
ハ之ヲ還付シ兵器ハ本人滿期ノ際之ヲ返納セシム

第三條 一年志願兵ハ在營セシムルヲ例トス但本人ノ願ニ依リ聯隊長聯隊長ヲ成サハ  
ル隊ニ在テハ  
該隊長以  
下同シ 外泊ヲ許シ通勤セシムルコトヲ得

第四條 費用ノ全額ヲ自辨シ能ハサルノ證アル者ハ糧食費外ノ費用ヲ官給ス

第五條 一年志願兵ハ總テ無給料トス其檢査往復並ニ入營退營旅費亦自辨トス

第六條 官費服役ヲ許スヘキ一年志願兵ノ定員ハ毎年陸軍大臣之ヲ定ム

官費服役出願者前項ノ定員ヲ超過スルトキハ年少ノ者ヨリ順次次年ニ廻シ入隊セ  
シム

第七條 一年志願兵ハ現役滿期ノ後六箇年四箇月間豫備役ニ五箇年間後備役ニ服セ  
シム



陸軍一年志願兵條例自第八條至第十條

豫備役後備役中犯罪ノ爲メ又ハ正當ノ事由ナクシテ召集ヲ缺キタル者其召集ヲ缺キタル年ハ服役年期ニ算セス

第八條 一年志願兵志願者ハ其願書ヲ一月三十一日迄ニ本籍ノ島司郡市長東京京都大坂ノ三市及北海道函館區ニ在テハ區長以下同シヲ經テ自費服役者ニ在テハ服役スヘキ衛戍地所管ノ旅團長ハ步兵第一旅團長ニ在テハ官費服役者ニ在テハ居住地所管ノ旅團長ニ差出スヘシ但徵兵令第十三條ノ學校卒業者ハ卒業證書寫及戶主ニアラサルモノハ戶主二十歳未滿者ハ戶主若クハ後見人ノ承認書ヲ添附スルヲ要ス

島司郡市長ハ志願者ノ身元資産並ニ犯罪有無ノ證明書ヲ製シ其願書ニ添附スヘシ  
第九條 前條ノ志願者ニシテ一月三十一日迄ニ徵兵令第十三條ノ學校ヲ卒業セサル者ハ其年十月三十一日迄ニ卒業スヘキ者ニ限り學校長ノ證明書ヲ以テ卒業證書寫ニ換フルヲ得但卒業ノ上ハ直ニ卒業證書寫ヲ添ヘ旅團長ニ届出スヘシ  
第十條 旅團長ハ第八條ノ志願者中學術試驗ヲ受クヘキ者ノ人名書ニ通テ製シ師團長ニ呈スヘシ師團長ハ其一通ヲ監軍ニ呈シ一通ヲ身體檢査ヲ爲サシムヘキ軍醫ニ

下付スルモノトス

第十一條 一年志願兵ノ學術試驗格例ハ毎年監軍之ヲ定メ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十二條 師團長ハ學術試驗ヲ受クヘキ者ノ身體檢査時日ヲ定メ府縣知事ニ通達シ本人ヲ檢査地ニ召集ス

第十三條 師團長ハ軍醫ヲシテ學術試驗ヲ受クヘキ者ノ身體檢査ヲ爲サシメ其合格者ハ陸軍將校生徒試驗臨時委員ヲシテ學術試驗ヲ爲サシメ試驗書類ヲ旅團長ニ交付ス

第十四條 旅團長ハ試験ノ成績ニ據リ及第落第ヲ定メ及第者ニハ一年志願兵認定證書ヲ付與シ落第者ニハ其旨ヲ通知スヘシ

第八條但書ノ卒業者及第九條ニ當ル者ハ通常ノ徵兵ト同時ニ身體檢査ヲ爲シ合格者ニハ一年志願兵認定證書ヲ付與シ不合格者ニハ其旨ヲ通知スヘシ但第九條ニ當ル者ノ認定證書ハ同條但書ノ届出ヲ爲シタルトキ之ヲ付與スルモノトス  
第四條ニ當ル者ハ認定證書ノ外別ニ官費服役證書ヲ付與スヘシ

陸軍一年志願兵條例自第十一條至第十四條

廿七年二月  
勅令第八號  
參看



第十五條 一年志願兵ノ入隊期日ハ毎年十二月一日トス

第十六條 一年志願兵認定證書ヲ受ケタル者ハ入隊スヘキ年ノ十一月三十日迄ニ第

二條若クハ第四條ノ金額ヲ所屬隊ニ納付スヘシ但入隊前外泊ノ許可ヲ受ケタル者

ハ第二條ノ糧食費ヲ控除シ納付スヘシ

第十七條 一年志願兵ノ教育ニ關シテハ聯隊長其責ニ任スルモノトス

第十八條 一年志願兵中勤務熟達品行方正ニシテ豫備士官タルヲ得ヘキ材幹アル者

ハ入隊ノ日ヨリ起算シ四箇月ノ後一等卒ヲ命シ通常教育ノ外特別ノ教育ヲ授ケ更

ニ二ヶ月ノ後上等兵ト爲シ下士ノ勤務ヲ爲サシメ更ニ三箇月ノ後二等軍曹ノ階級

ニ進メ諸勤務ヲ練習セシム

其服役滿期ニ際シテハ聯隊長終末試験委員ヲシテ第二十六條ノ格例ニ從ヒ終末試

験ヲ爲サシメ其成績ヲ具シ師團長 步兵ニ在テハ旅團長ヲ經テノ認可ヲ受ケ及第者ニハ終末試験

及第證書ヲ授與シ一等軍曹ニ其落第者ハ二等軍曹ニ任シ豫備役ニ編入ス

第十九條 前條及第二十二條ノ撰ニ當ラサル者ハ入隊ノ日ヨリ起算シ六箇月ノ後一

等卒ヲ命シ更ニ三箇月ノ後上等兵ト爲シ通常教育ノ外下士タルノ教育ヲ授ケ服役

滿期ノ際其成績優等ノ者ハ師團長ノ認可ヲ受ケ二等軍曹ニ任シ之ニ亞ク者ハ下士

適任證書ヲ付與シ若クハ之ヲ付與セスシテ豫備役ニ編入ス

第二十條 第十八條及第二十二條ニ當ル者ニシテ疾病其他ノ事故ニ由リ豫備士官ト

爲スノ見込ナキニ至リタルトキハ第十九條ノ例ニ準シ取扱フモノトス

第二十一條 醫學、藥學、理財學若クハ商業學ノ卒業證書ヲ所持スル者ハ步兵隊、理財

商業學卒業證書ヲ所持スル者ハ師團司令部所在地ノ步兵隊ニ限ルニ獸醫學ノ卒業證書ヲ所持スル者ハ騎兵隊、野

戰砲兵隊又ハ輜重兵隊ニ於テ前半年間隊列勤務ヲ爲シ後半年ノ初ニ於テ軍醫生、

藥劑生、獸醫生又ハ軍吏生ト爲リ各専門ノ勤務ヲ練習スルコトヲ得志願ノ者ハ入

隊ノ際其卒業證書寫ヲ添ヘ出願スヘシ

前項ノ獸醫生タラントスル者ハ第二條ノ馬匹ニ關スル納金ヲ要セス

第二十二條 前條ノ志願者中勤務勉勵品行方正ニシテ豫備士官タルヲ得ヘキ志操ア

ル者ハ入隊ノ日ヨリ起算シ四箇月ノ後一等卒ヲ命シ更ニ二箇月ノ後上等兵ヲ命ス



ヘシ之ニ軍醫生、藥劑生、獸醫生、軍吏生ヲ命スルニハ師團監督部長若クハ軍醫長、獸醫長ヨリ師團長ノ認可ヲ受クルモノトス但軍吏生ト爲シタル者ハ下士ノ勤務ヲ爲サシメ上等兵ヲ命シタルトキヨリ更ニ三箇月ノ後二等書記ノ階級ニ進ムヘシ

第二十三條 軍醫生ノ教育ハ該隊上級醫官、藥劑生ノ教育ハ衛戍病院長、獸醫生ノ教育ハ該隊上級ノ獸醫官、軍吏生ノ教育ハ師團監督部長各其責ニ任スルモノトス

第二十四條 軍醫生、藥劑生、獸醫生ハ曹長同等ノ取扱ヲ受クルモノトス

第二十五條 軍醫生、藥劑生、獸醫生及軍吏生ト爲シタル者ハ服役滿期ノ際師團監督部長、軍醫長若クハ獸醫長終末試験委員ヲシテ第二十六條ノ格例ニ從ヒ終末試験ヲ爲サシメ其及第者ニハ軍醫長、獸醫長ハ其成績ヲ具シ師團長ノ認可ヲ受ケ 終末試験及第證書ヲ授與シ軍吏生ニ在テハ二等書記ニ任シ豫備役ニ編入ス

其落第者ニ在テハ軍醫生ハ二等看護長ニ藥劑生ハ二等調劑手ニ獸醫生ハ蹄鐵工下長ニ軍吏生ハ二等書記ニ任シ豫備役ニ編入ス

前二項ニ於ル下士ノ任官ハ軍醫生、藥劑生ニ在テハ軍醫長ヨリ陸軍省醫務局長、獸

醫生ニ在テハ當該隊長ヨリ師團長、軍吏生ニ在テハ監督部長ヨリ陸軍省經理局長ノ認可ヲ受クルモノトス

第二十六條 師團長及師團監督部長ハ毎年一年志願兵ノ終末試験格例ヲ定メ豫メ之ヲ告達ス

第二十七條 終末試験委員ハ聯隊長、監督部長之ヲ編成ス

軍醫生、藥劑生、獸醫生ノ終末試験委員ハ師團長之ヲ編成シ軍醫長及獸醫長ノ指揮ニ屬ス

第二十八條 第十八條及第二十二條ニ依リ上等兵ト爲シタル者ハ成ルヘク兵卒ト居室ヲ異ニシ將校ト共ニ會食セシムヘシ

第二十九條 一年志願兵ノ服制ハ別ニ定ムルモノ、外其階級ニ應シ各兵科ノ下士兵卒ト同一トス但軍醫生、藥劑生、獸醫生ハ該隊曹長軍吏生ニシテ二等書記ノ階級ニ進メタル者ハ該隊二等軍曹ト同一トス

軍醫生、藥劑生、獸醫生、軍吏生ハ之ヲ命シタル日ヨリ襟ニ特別ノ徽章ヲ附ス

第三十條 戰時若クハ事變ニ際シテハ一年志願兵ト雖モ通常ノ現役勤務ニ服セシム



ルコトアルヘシ

第三十一條 一年志願兵入隊前禁錮以上ノ刑ニ處セラレ又ハ死亡シタルトキハ其親族ヨリ旅團長ニ届出ヘシ

第三十二條 一年志願兵認定證書ヲ所持スル者疾病其他止ヲ得サル事故ニ由リ十二月一日ニ入隊シ難キトキハ證明書類ヲ添へ入隊延期ヲ旅團長ニ出願スヘシ  
前項ノ事故アル者十二月三十一日ヲ過ルモ入隊シ難シト認ムルトキハ旅團長之ヲ次回シト爲シ聯隊長及本人ニ通知スヘシ

第三十三條 一年志願兵入隊シタルトキ若クハ次年回シト爲リタルトキハ本籍所管大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ届出ヘシ

第三十四條 一年志願兵認定證書ヲ得タル者正當ノ事由ナクシテ其年十二月一日ニ入隊セザルトキハ一年志願兵タルノ資格ヲ失フモノトス

第三十五條 徵兵事務條例第五十三條第六十五條及第六十六條ハ一年志願兵ニモ亦適用ス但其豫備役ニ編入スヘキ者ハ國民兵役ニ編入ス

附則

第三十六條 明治二十七年以前一年志願兵トシテ服役シタル者ノ豫備役後備役年期ハ第七條ニ依ル但明治二十四年以前一年志願兵トシテ服役シタル者ノ後備役年期ハ豫備役年期ヲ通シテ十一箇年四箇月トス

陸軍省令第十號 (明治二十六年七月二十二日)

陸軍一年志願兵條例施行細則

第一條 條例第二條ノ所屬隊ヨリ給スル被服裝具ノ現品左ノ如シ

- 一 第一種帽 前立共
- 二 第二種帽
- 三 第一種衣袴
- 四 第二種衣袴
- 五 夏衣袴 二著



- 六 日覆
  - 七 外套
  - 八 脚絆
  - 九 第一種手牒
  - 十 背囊
  - 十一 被服手入具
  - 十二 飯盒
  - 十三 水筒
  - 十四 寢具
- 第二條 糧食費自辨ノ者ハ行軍若クハ野外演習中ノ糧食費亦自辨トス
- 第三條 條例第八條ノ願書ハ附錄第一第二樣式ニ承認書ハ第三樣式ニ證明書ハ第四樣式ニ依リ之ヲ作ル可シ
- 第四條 條例第十三條ノ身體檢査終レハ軍醫ハ其成績ヲ陸軍將校生徒試驗臨時委員

ニ通知シ條例第十條ノ人名書ニ不參其他ノ事由ヲ記註シ體格檢査表ヲ添ヘ師團長ニ報告シ師團長ハ之ヲ條例第八條ノ旅團長ニ交付ス

旅團長ハ其身體檢査ニ不合格ノ者二十歲未滿ノ者ヲ除ク體格檢査表ヲ本籍地ノ旅管徵兵官ニ送付ス可シ

第五條 條例第十四條第二項ニ依リ身體檢査ヲ爲ス可キ者ノ人名ハ旅團長ヨリ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ達シ同官之ヲ島司郡市長ニ通達シ島司郡市長ハ檢査ノ時日及場所ヲ告示ス可シ

居住地旅管外ノ衛戍地ニ於テ服役センコトヲ志願スル者ノ身體檢査ハ衛戍地所管ノ旅團長東京衛戍地ニ在テハ步兵第一旅團長ヨリ居住地所管ノ旅團長ニ協議シテ之ヲ行フ可シ

事故アリテ指定ノ檢査場ニ出頭シ難キ者ハ願ニ依リ他ノ徵兵署若クハ檢査所ニ於テ身體檢査ヲ受クルコトヲ得

前項ノ出願者アルトキハ甲乙大隊區司令官又ハ警備隊區司令官協議ノ上檢査時日及場所ヲ定メ本人ニ達ス可シ



第六條 前條ノ身體檢査終ル後大隊區司令官又ハ警備隊區司令官其人名書ニ不參其  
他ノ事由ヲ記註シ體格檢査表ヲ添ヘ旅團長ニ呈ス  
旅團長ハ其身體檢査ニ不合格ノ者二十歲未滿ノ者ヲ除ク體格檢査表ヲ本籍地ノ旅管徵兵官  
ニ付ス可シ

第七條 第四條及第六條ノ身體檢査不合格ノ者ハ旅管徵兵官徵集免除又ハ兵役免除  
ノ處分ヲ爲シ其一時徵集ニ適セサル者ハ大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ヲシテ  
徵集延期ノ處分ヲ爲サシム可シ

第八條 旅團長ハ條例第十三條及第十四條第二項ノ檢査ニ不參セル者並學術試驗ニ  
落第セシ者二十歲未滿ヲ本籍地ノ大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ通知ス可シ

第九條 條例第十四條ノ一年志願兵認定證書ハ附錄第五樣式ニ官費服役證書ハ第六  
樣式ニ依リ作ル可シ但條例第六條第二項ニ依リ次年回シト爲ス可キ者ハ官費服役  
證書ノ餘白ニ其旨ヲ記載ス可シ

第十條 旅團長ハ同兵種二隊以上アル衛戍地ニ服役セントスル者ノ隊籍ヲ定ムルニ

二十八年  
四月省令  
第五號參  
看

ハ成ル可ク之ヲ各隊ニ平均ス可シ

官費服役者中醫學、藥學、理財學若クハ商業學卒業證書ヲ所持スル者ハ步兵隊、財  
學、商業學卒業證書ヲ所持スル者  
ハ師團司令部所在地步兵隊ニ限ルニ獸醫學卒業證書ヲ所持スル者ハ騎兵隊、野戰  
砲兵隊又ハ輜重兵隊ニ配付ス可シ

第十一條 旅團長ハ一年志願兵認定證書ヲ付與シタル者ヲ自費服役、官費服役、次年  
回シ等ニ區別シ其人名書ニ體格檢査表ヲ添ヘ當該聯隊長 聯隊長ヲ爲サ、ル隊ニ在  
下付シ又其人員ヲ師團長ニ報告ス可シ

第十二條 聯隊長ハ前條ノ一年志願兵ニシテ十二月一日ニ入隊セサル者アルトキハ  
其人名ヲ旅團長ニ報告ス可シ

第十三條 條例第三十一條第三十二條第二項第三十四條及入隊前第三十五條ニ當ル  
者アルトキハ旅團長ハ其旨ヲ聯隊長ニ通知シ師團長ニ報告ス可シ但二十歲以上ノ  
者ニ在テハ本籍地ノ大隊區徵兵官警備隊區徵兵官ニモ亦通知ス可シ  
前項ノ者官費服役者ナルトキハ條例第六條第二項ニ依リ次年回シト爲シタル者ヲ

陸軍一年志願兵條例施行細則自第十一條至第十三條



線ヶ十二月三十一日迄ニ入隊セシムルコトヲ得

第十四條 一年志願兵徵募事務終結後師團長ハ附錄第七様式ニ依リ一年志願兵人員表ヲ作り翌年一月十五日迄ニ陸軍大臣ニ報告ス可シ

第十五條 條例第二十一條ニ依リ軍醫生、藥劑生、獸醫生及軍吏生ヲ志願スル者アルトキハ聯隊長其願書及卒業證書寫ヲ師團監督部長若クハ軍醫長若クハ獸醫長ニ送附シ監督部長、軍醫長、獸醫長ヨリ師團長ノ認可ヲ受ケ後半年初ニ於テ聯隊長ヲ經由シ之ヲ命スルモノトス

藥劑生ハ衛戍病院ニ軍吏生ハ師團監督部ニ派遣シ勤務ヲ練習セシムルモノトス

第十六條 軍醫生、藥劑生、軍吏生ト爲シタル者ハ貸與セシ兵器ヲ返納セシメ更ニ徒歩刀ヲ給ス獸醫生ト爲シタル者ハ軍刀或ハ砲兵刀ヲ除クノ外兵器ヲ返納セシム

第十七條 師團長ハ一年志願兵終末試験終リタルトキ附錄第八様式ニ依リ成績表ヲ作り陸軍大臣ニ報告ス可シ

第十八條 一年志願兵終末試験及第證書ハ附錄第九様式ニ依リ各部各隊ニ於テ製ス

可シ

第十九條 一年志願兵入隊前轉住其他止ヲ得サル事故ニ依リ隊籍變更ヲ願出ル者アルトキハ旅團長之ヲ許可スルコトヲ得但所轄外ニ係ルモノハ豫メ當該旅團長ト協議スルヲ要ス

第二十條 一年志願兵現役ヲ免シ若クハ死亡シタルトキハ實費ヲ精算シ殘金アレハ之ヲ還付ス

第一様式

一年志願兵服役願

私儀徵兵令第十三條ニ依リ服役中ノ費用全額ヲ自辨シ何地何兵隊ニ於テ一年志願兵トシテ服役致度志願ニ候間御認可相成度別紙某學校卒業證書寫相添此段奉願候也

府(縣)郡(市)町(村)番地住

府(縣)郡(市)町(村)番地寄留

華(士)族(平民)

年月日

氏

名印

步兵第何旅團長(爵)氏名殿

年月日生



第二様式

二〇四

條例第九條ニ當ル者ハ「卒業證書寫」ノ五字ヲ「長證明書」ノ四字ニ換ヘ戶主ニアラサル者及二十歳未滿ノ者ハ「相添」ノ上ニ「戶主(後見人)ノ承認書」ノ字ヲ挿入シ學術試験ヲ受クヘキ者ハ「御認可」以下ヲ「學術御試験」ノ上御認可相成度(戶主「後見人」ノ承認書相添)此段奉願候也」ニ作ル

第二様式

一年志願兵官費服役願

私儀徵兵令第十三條ニ依リ一年志願兵トシテ服役致度志願ニ候處服役中ノ費用全額自辨ス可キ資力無之候ニ付糧食費ヲ自辨仕候間其他ハ官費ヲ以テ服役ノ儀御認可相成度別紙某學校卒業證書寫相添此段奉願候也

年月日

府(縣)郡(市)町(村)番地住  
府(縣)郡(市)町(村)番地寄留  
華(士)族(平民)

氏

名印

步兵第何旅團長(爵)氏名殿

年月日生

第一様式欄外ノ記註ハ本様式ニモ適用ス

第三様式

一年志願兵服役承認書

氏名

右者一年志願兵トシテ服役致度志願ニ候處服役中ノ費用金何圓無相違上納可爲致候也

府(縣)郡(市)町(村)番地住  
府(縣)郡(市)町(村)番地寄留  
戶主(後見人)

氏

名印

年月日

條例第四條ニ當ル者ハ本文「金何圓無相違上納」ノ八字ヲ「全額自辨スヘキ資力無之候得共糧食費金二十八圓ハ無相違自辨」ノ字ニ換フ

第三様式

二〇五



第四様式

二〇六

身元證明書

- 一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナシ
- 一 何年何月罰金何圓ニ處セラル或ハ何年何月何々ノ罰ニ處セラル等
- 一 戸主或ハ本人何種公債證書或ハ株券金額何千何百圓ヲ所有スル等
- 一 戸主或ハ本人官廳或ハ會社等ヨリ受クル給料何千何百圓等
- 一 何々ノ所得年額何千何百圓等
- 一 右相違無之ニ付一年志願兵服役中ノ費用全額ヲ自辨シ得ルコトヲ證明ス

年月日

府(縣)島司(郡)市長(氏)

名

條例第四條ニ當ル者ハ「右相違無之」云々ヲ「右相違無之候得共一家ノ生計ヲ立テ餘裕無之ニ付糧食費ノ外自辨シ能ハサルコトヲ證明ス」ニ作ル

第五様式

第 號

一年志願兵認定證書

府(縣)族 籍

氏

名

年月日生

陸軍一年志願兵タル資格ヲ具有スル者ト認定ス  
但何兵第何聯「大」隊ニ於テ服役ス可シ

年月日

職(爵)氏

名

印

用紙十二行半葉野紙

第五様式

二〇七



第六樣式

第六樣式

第 號	
官費服役證書	
府(縣)族籍	
氏 名	年月日生
陸軍一年志願兵トシテ糧食費ノ外官費ヲ以テ服	
役スルコトヲ許ス	
年月日	職(尊)氏
名 印	

用紙十三行半葉野紙

二〇八

第七樣式

明治何年第何師管一年志願兵人員表

類 別	採 用 者		計
	近衛何兵 (何兵)	第何聯(大)隊	
自 費	條例第四條	ニ當ル者	
卒業證書 所持者			
學術受験者			
合計			

第七樣式

二〇九











陸軍教導團條例自第一條至第四條

勅令第四十七號 (明治二十三年三月二十五日)

陸軍教導團條例

廿七年七月  
勅令第七  
百十九號  
參看

第一條 陸軍教導團ハ華士族平民中歩兵、騎兵、砲兵野戰、工兵、輜重兵科下士ニ出身志願ノ者ヲ撰拔シテ生徒ト爲シ下士タルニ必要ナル教育ヲ爲スヲ以テ目的トス

第二條 毎年採用ス可キ生徒ノ人員ハ其時々陸軍大臣之ヲ定メ監軍ニ移ス

第三條 本團ニ本部、歩兵二中隊、騎兵、砲兵野戰、工兵、輜重兵科ノ生徒隊并病院ヲ置ク

第四條 本團ニ職員ヲ置ク左ノ如シ

- 團長 歩兵佐官
- 副官 大(中)尉
- 病院長 二等軍醫正
- 生徒隊長及中隊長 大尉
- 生徒隊附 中尉

廿六年十月  
勅令第三  
百二十六號  
參看

歩兵生徒隊副官 中尉

軍醫

藥劑官

獸醫

軍吏

第五條 團長ハ監軍ニ隸シ本團ノ軍紀風紀ヲ維持シ教育一般ノ事ヲ總括シ且經理事務、召募事務及人事ヲ統轄シ歩兵生徒隊長ヲ兼ヌ

第六條 副官ハ團中ノ庶務ヲ掌リ其下ニ准士官下士及陸軍屬若干員ヲ置ク

第七條 病院長ノ職務ハ別ニ定ムル所ニ據ル

第八條 軍醫ノ下ニ看護長藥劑官ノ下ニ調劑手獸醫ノ下ニ蹄鐵工(下)長軍吏ノ下ニ書記ヲ置ク

第九條 騎兵、砲兵野戰、砲兵、工兵、輜重兵科ノ生徒隊長ハ團長ニ隸スト雖モ各科専門ノ教育ニ就テハ尙ホ當該兵監ニ屬ス

陸軍教導團條例自第五條至第九條



第十條 各生徒隊長ハ教育ノ事ヲ掌リ士官准士官及下士ヲシテ其諸科目ヲ分擔セシム

第十一條 生徒修業中ハ被服食料ハ官費トシ學科用書籍材料ハ官給若クハ貸與シ且手當金若干ヲ給ス

第十二條 本團生徒ノ學期ハ概テ歩兵科ハ八月騎兵及輜重兵科ハ六月砲兵野戰及工兵科ハ四月ニ始リ各兵科ニ就キ其修業期限約テ左ノ如シ

歩兵科 十六箇月

騎兵科 十八箇月

砲兵野戰砲兵科 二十箇月

工兵科 二十箇月

輜重兵科 十八箇月

第十三條 本團生徒ノ教育ハ之ヲ分テ教授及訓育トシ其科目ハ歩兵科ニ在テハ團長、騎兵、砲兵野戰、工兵、輜重兵科ニ在テハ各當該兵監ノ定ムル處ニ據ル

第十四條 生徒隊ノ内務ハ概テ軍隊内務ノ規定ニ據ル

第十五條 生徒入團ノ上ハ自己ノ情願ヲ以テ退團スルヲ許サス而シテ必ス陸軍ニ從事シ決シテ他志ナキノ誓約ヲナサシム

第十六條 生徒修業中ハ一切歸省休暇ヲ許サス而シテ行狀不正或ハ軍紀ヲ遵守セス或ハ屢々法則ヲ犯シ又ハ傷痍、疾病ニテ生徒タルニ堪ヘ難ク若クハ卒業ノ目的ナキ者ハ退團セシム但傷痍疾病ニ係ル者ハ醫官ノ診斷ニ依テ處分ス

第十七條 學期末ニ於テ生徒ノ終末試験ヲ施行ス事故アルモノハ試験ヲ延期スルコトアリ此試験ニ及第セシ者ニハ本團教則卒業證書ヲ附與シ二等軍曹ニ任ス

第十八條 各學期末ヨリ次學期迄ノ間ニ於テ中隊長及各生徒隊附ノ士官ヲ各本科ノ兵隊ニ派遣シ隊附勤務ヲ爲サシム

陸軍省令第二十五號 (明治二十七年十二月十一日)

陸軍教導團生徒召集規則

陸軍教導團條例自第十四條至第十八條



第一條 陸軍教導團生徒ハ年齡滿十八年以上廿五年以下ニシテ歩兵、騎兵、野戰砲兵、工兵、輜重兵科ノ下士志願者中身體檢査學科試験ノ成績ニ依リ所要人員ヲ採用ス。其年齡ヲ算スルハ召募ニ應スヘキ年ノ四月ヲ以テス。

第二條 左ニ掲タル者ハ志願者タルヲ得ス但入團願書差出ノ後本條ノ事故ヲ生スル者アルトキハ島司郡市長東京、京都、大坂ノ三市ニ在テハ區長以下之ニ倣フ。ハ速ニ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ報告シ同官ハ之ヲ教導團長ニ報告スヘシ。

一 陸海軍現役、豫備役、後備ニ在ル者

二 妻アル者

三 復權ヲ得サル家資分散者、破産者及身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者

四 禁錮ノ刑ニ處セラレタル者及賭博犯ノ處分ヲ受ケタル者

五 前諸項ノ外素行修マラサル者

第三條 砲兵、工兵科ハ身長五尺二寸以上歩兵、騎兵、輜重兵科ハ五尺以上ニシテ體

質強壯ナルヲ要ス

第四條 學科試験科目左ノ如シ

一 讀書 日本外史又ハ日本政記ノ類(通讀)

二 作文 記事文(漢字交リ)及通俗文

但作文ヲ以テ作字ノ巧拙ヲ試験ス

三 數學 整數四則、分數、比例、開平、開立

試験ハ一科毎ニ若干ノ點數ヲ與ヘ其總點數ヲ比較シテ優劣ヲ定ム但一科ニ落第スル者ハ假令總點數ニ於テ優等ナリト雖トモ採用セス

第五條 志願者ハ第一書式ノ願書ニ第二第三書式ノ履歷書及戶籍寫各副本ヲ添ヘ要セス召募ニ應スヘキ前年ノ九月三十日迄ニ町村長ノ與書證印ヲ受ケ島司郡長ニ差出シ

市ニ在テハ直ニ市長ニ差出スヘシ但父兄親族等一家ノ戶主ニシテ身元慥ナル二名ノ保證人ヲ要ス

島司郡市長ハ前項ノ願書ニ與書證印ノ上第四書式ノ志願者連名簿及各自ノ里程調



書順路ニ基キ汽車路海陸路ノ區別ヲナシ若クハ添ヘ之ヲ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ送付シ同官ハ十月三十一日迄ニ其人名及希望兵科ヲ教導團長ニ通報スヘシ

第六條 大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ハ身體檢查及學科試驗ノ時日ヲ定メ教導團長及島司郡市長ニ通知シ島司郡市長ハ之ヲ本人ニ通達スヘシ

第七條 志願者ノ身體檢查及學科試驗ハ當該大隊區司令官又ハ警備隊區司令官其司令部所在地ニ於テ之ヲ行フ

其身體檢查ハ司令部最寄衛戍地在職ノ軍醫ヲ派シテ之ニ任セシム之カ爲メ大隊區司令官ハ檢查日割ヲ師團長ニ上申シ軍醫ノ派遣ヲ申請スヘシ但警備隊區ニ在テハ警備隊區司令官ヨリ警備隊司令官ニ請求スルモノトス

學科試驗ハ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官身體檢查合格者ニ就テ之ヲ爲スヘシ第二項ノ軍醫ハ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ノ指揮ヲ受クルモノトス志願者検査場ヘノ往復旅費及滞在費ハ自辨トス

甲大隊區ノ志願者ニシテ居住地最寄ノ乙大隊區司令部ニ於テ身體檢查及學科試驗ヲ受ケンコトヲ出願スル者アルトキハ甲乙兩大隊區司令官協議ノ上之ヲ許可スルコトヲ得

第八條 學科試験ノ問題ハ教導團長之ヲ作り密封シテ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ送付スヘシ

第九條 志願者ハ検査時日ニ後レサル様當該大隊區司令部又ハ警備隊區司令部ニ出頭シテ指揮ヲ受クヘシ疾病其他ノ事故ニ依リ當日出場ヲ缺ク者アルモ之カ爲メ時日ヲ延ハスコトナシ

第十條 志願者試験ヲ受ケタル後テ轉住スルトキハ速ニ舊住地ノ大隊區司令部又ハ警備隊區司令部ヲ經テ教導團ニ届出且ツ之ト同時ニ新住地ノ大隊區司令部又ハ警備隊區司令部ヘモ届出ヘシ

又己ムヲ得サル事故ニ由リ志願取消ヲ爲ントスル者ハ大隊區司令部又ハ警備隊區司令部ヲ經テ其願書ヲ教導團ヘ差出スヘシ



第十一條 大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ハ學科試験ヲ終レハ受験者ノ答解書ヲ取纏メ之ニ第五條ノ島司郡市長ヨリ受領シタル書類ヲ添ヘ連名簿ニ各自希望ノ兵科ヲ記入シテ十二月三十一日迄ニ教導團長ニ送付スヘシ

第十二條 教導團長ハ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ヨリ送付スル所ノ答解書ヲ審査シ採用スヘキ者ト否トヲ決定シ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官島司郡市長及町村長ヲ經テ之ヲ本人ニ通達シ其採用者ニハ入團ヲ命スヘシ

第十三條 入團ノ達ヲ受ケタル者ニハ其居住地受驗當時ノ住所ヲ云ヨリ教導團迄ノ里程ニ應シテ舟車馬料及日當ヲ當該監督部ヨリ支給ス但自己ノ便宜ヲ以テ入團期日前早著シ滞在スル者アルモ日當ヲ増給スルノ限リニアラス

第十四條 入團ヲ命セラレタル者居住地出發前疾病其他ノ事故ヲ生シ入團延期ヲ出願セントスルトキハ入團期日ヨリ何日間猶豫ノ旨疾病ハ醫師ノ診斷書其他ハ市町村長ノ證明書ヲ添付スヘシヲ記載シ其願書ヲ當該大隊區司令部又ハ警備隊區司令部ヲ經テ教導團長ニ差出スヘシ又入團途中ニ於テ同一ノ事故ヲ生シ期日ニ著團シ難キトキハ電報若クハ郵便ヲ

以テ教導團長ニ届出事故止ミ著團ノ節疾病ハ醫師ノ診斷書其他ハ其地ノ市町村長若クハ船長等ノ證明書ヲ以テ更ニ届出ヘシ

前項ニ依リ入團期日後十日以内ニ到着セサル者ハ除名スヘシ

第十五條 入團ノ達ヲ受ケタル者故ナク出發ヲ遲延シ若クハ無届ニテ期日ニ到着セズ或ハ自己ノ不注意ヨリシテ期日ニ後レタル者ハ採用セサルノミナラス支給セシ旅費ヲ返納セシム

第十六條 採用スヘキ者著團スルトキハ再ヒ身體検査ヲ行フヘシ此検査ニ於テ不合格ノ者ハ歸郷セシメ其旨ヲ教導團ヨリ當該大隊區司令部又ハ警備隊區司令部ニ通報ス但自己ノ不攝生ヨリ發病スルモノト認ムルトキハ之ニ歸郷旅費ヲ給セサルノミナラス入團旅費ヲ返納セシムルモノトス

第十七條 生徒入團ノ上ハ教導團條例第十五條ニ據リ左ノ誓約ヲ爲サシム

誓文

今般陸軍出身志願ニ付教導團生徒奉願候處御許容相成候ニ付テハ自今御規則嚴重



ニ相守誓テ陸軍ニ從事可仕且御定規ノ服役年間ハ假令疾病ト雖トモ醫官ノ診斷ニ依ラスシテ免役ヲ請願致候等ノ儀毛頭仕間敷候依テ誓文如件

年 號 月 日

姓 名 印

附 則

第十八條 市制町村制ヲ施行セサル地方ニ在テハ本規則中市町村長ノ職務ハ區戶長ニ於テ之ヲ行フヘシ

第十九條 沖繩縣下ノ志願者ニ關シ大隊區司令官ノ取扱ニ係ルモノハ當分ノ内沖繩分遣歩兵隊長之ヲ取扱フヘシ

第二十條 明治二十八年召募ノ者ニ限り第五條ノ願書差出期限ヲ一月十五日第十一條ノ書類送付期限ヲ二月十五日迄トシ第五條ノ人名通報期限ハ適宜トス但第五條ノ願書其他ノ書類ハ島司郡市長ヨリ一月二十五日迄ニ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ送付スヘシ

第一號書式

用紙美濃紙

教導團入學願

某 儀

陸軍出身志願ニ付教導團生徒トシテ入學仕度候間御試驗ノ上御採用被下度入團ノ上ハ御規則嚴重ニ相守リ誓テ陸軍ニ從事可仕本人身上ノ儀ハ何事ニ依ラス身元保證人ニ於テ引受可申依テ履歷書及戶籍寫相添保證人連署此段奉願候也

年 號 月 日

府(縣)何族(平民)職業

戶主ニ非レハ某子弟

何國何郡(市)何町(村) 第一希望何科 第四希望何々 姓 名 印  
何國何郡(市)何町(村) 第二希望何々 第五希望何々 年號月日生  
何番地住(寄留) 第三希望何々

明治何年四月何年何箇月

身元保證人

第一號樣式



第一號樣式

二二六

府(縣)何族(平民) 姓 名 印  
 何國何郡(市)何町(村)何番地住(寄留) 姓 名 印  
 同上 姓 名 印  
 同上 姓 名 印  
 陸軍教導團長官 姓 名 殿  
 右之通願出候ニ付取調候處相違無之候也  
 府(縣)市(郡町)村(長) 姓 名 印  
 前書之通相違無之候也 府(縣)島司(郡長) 姓 名 印

第二號書式

用紙美濃紙

履歷書 書式ニ示ス外履歷ニ係ルモノハ悉ク記載スヘシ 府(縣)何族(平民)職業 戶主ニ非レハ某子弟等  
 一何年何月種痘(天然痘)

第二號書式

二二七

一陸海軍現役、豫備役、後備役ニアラス 姓 名  
 一妻ナシ  
 一家資分散ノ宣告又ハ身代限ノ處分ヲ受ケシコトナシ  
 (家資分散ノ宣告ヲ受ケシモ既ニ復權ヲ得タリ又ハ身代限ノ處分ヲ受ケシモ負債ノ辨償ハ既ニ完了ス)  
 一禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナシ  
 一及賭博犯ノ處分ヲ受ケシコトナシ  
 一何年月日任何官(免本官)何省(府)(縣) 姓 名  
 (應)等  
 一何年月日何職被申付(何職被免)何省(府)(縣) 姓 名  
 (應)等  
 一何年月日ヨリ何年月日迄何學校(塾)入學何科卒業(何學修學)  
 一何年月日ヨリ何年月日迄何學研究(商業)ノ爲メ何國(外國)ニ在留  
 一何年月日徴兵(士官候補生、幼年學校生徒、教導團生徒、海軍兵學校生徒等)ノ檢査ヲ受ケ體格(身軀)團體(重)不足等 學科ニ合格セス  
 一何年月日何々ニ依テ賞典何々下賜  
 一何年月日何々ノ科ニ依リテ何罰申付ラル  
 右之通相違無之候也  
 年 號 月 日 本人 姓 名 印



第三號書式

三三八

第三號書式

用紙美濃紙

身元保證人  
 姓 名 印  
 姓 名 印

戶籍寫 戶籍中現在スル者ノミヲ記載スヘシ

— 祖父 某  
 — 祖母 某  
 — 父 某  
 — 母 某  
 — 兄 某 何年何月日生  
 — 弟 某 同右  
 — 姉 某 同右  
 — 妹 某 同右  
 右之通相違無之候也  
 年 號 月 日  
 本人 姓 名 印

第四號書式 用紙半紙

身元保證人  
 姓 名 印  
 姓 名 印

陸軍教導團生徒志願者連名簿		何縣何郡(市)	
摘 要	府縣族籍職業	年 何年四月調 齡 姓	名

陸軍志願兵身體檢査規則  
 陸達第二十三號 (明治二十五年三月二十六日)

第四號書式

三二九



第一條 陸軍志願兵徵兵事務條例施行細則身體檢查ハ其身材ノ合格ト不合格トヲ判別スルモノトス而シテ此檢查ハ學術上諸種ノ方法ヲ施スコトヲ得

此規則ハ陸軍士官候補生並陸軍諸生徒志願者ノ身體檢查ニ適用ス

第二條 志願者一日ノ檢查人員ハ醫官一名ニ付概テ四十名トス

第三條 志願者ノ身長ヲ定ムルコト左ノ如シ但別ニ規定スル所アルモノハ此限ニ非ス

滿十五歲以上 四尺七寸以上

滿十六歲以上 四尺八寸以上

滿十七歲以上 四尺九寸以上

滿十八歲以上 五尺以上

第四條 體格ヲ區別スルコト左ノ如シ

- 一 合格徵兵檢查規則第三條ノ甲種乙種ニ該當スルモノ 身長ノ制限ハ本則第三條ニ據ル
- 二 不合格前項ニ該當セサルモノ

第五條 近視ノモノハ合格トナスコトヲ得ス但各兵科士官候補生志願者ニ在テハ二十尺ノ距離ニ於テ眼鏡ヲ用ヒス斯涅兒連氏視力表ノ三十號ヲ視得ルモノ一年志願兵志願者ニ在テハ同百號ヲ視得ルモノヲ採ルコトヲ得衛生部士官候補生志願者ニ在テハ尙高度ノモノヲ採ルモ妨ナシ

第六條 一年志願兵志願者ニ限リ第四條ノ不合格中二十歲未滿者ヲ除ク徵兵檢查規則第三條ノ丙種若クハ丁種若クハ戊種ニ當ルヘキモノナルコトヲ區別スヘシ

第七條 醫官ハ檢查結了後一週間日以内ニ體格表(第一式)ヲ調製シテ所管軍醫長ニ報告シ軍醫長ハ之ヲ陸軍省醫務局長ニ呈スヘシ

第八條 士官候補生並諸生徒志願者ノ體格檢査表(第二式)ハ檢査結了後士官候補生並諸生徒ノ屬スヘキ部隊ニ各兵科士官候補生及幼年學校生徒志願者ノ檢査表ハ師團司令部、教導團生徒志願者ノ檢査表ハ大隊區司令部ヲ送附スヘシ (表式ハ略ス)



陸軍下士兵卒休暇ニ關シ地方ニ係ル願出取扱手續

二二二

陸軍省令第二十一號 (明治二十三年七月八日)

陸軍下士兵卒休暇ニ關シ地方ニ係ル取扱及ヒ出願手續

- 一 陸軍下士兵卒ノ父母病氣又ハ死亡等ノ爲メ本人ノ歸郷ヲ要スルトキハ往復ヲ除キ二週日以内ノ休暇ヲ許ス其休暇ヲ願フトキハ親族ニ於テ願書ヲ作り、病氣ナレハ醫師ノ診斷書、市町村長、特別市制施行地ハノ奧書證印ヲ受ケ本人所屬ノ軍隊又ハ官衙ヘ宛差出スヘシ但掌務繁劇ナルトキハ許可セサルコトアル可シ
- 一 前項ノ外下士ニ在テハ毎年二週日以内ノ休暇ヲ與ヘ歸郷又ハ旅行ヲ許スコトアリ又營外居住ノ下士兵卒ニハ轉地療養ヲ要スルトキ本人ノ願ニ依リ四週日以内ノ休暇ヲ許スコトアルヘシ
- 一 休暇ヲ得テ歸郷又ハ旅行中發病ノ爲メ出發シ難キトキハ延期ヲ願フコトヲ得其延期ヲ願フトキハ本人又ハ親族ニ於テ願書ヲ作り醫師ノ診斷書ヲ添ヘ市町村長ノ奧書證印ヲ受ケ本人所屬ノ軍隊又ハ官衙ヘ宛差出スヘシ
- 一 休暇ヲ得テ歸郷又ハ旅行ノ者如何ナル事故ニ遭遇スルモ前項ノ場合ヲ除ク外休

暇日數ヲ延ハスコトヲ許サス

- 一 途中發病川留船待雪支等ニテ休暇日數ヲ超過スルトキハ醫師ノ診斷書或ハ市町村長ノ證明書ヲ請ヒ歸着ノ上差出スモノトス

一 休暇ヲ得テ歸郷又ハ旅行スル者ハ左式ノ休暇免許證ヲ携持シ陸軍定制ノ服ヲ着ス

六寸

兵種隊號(所管)

官(兵卒職工) 姓 名

表 休暇免許證 ㊦

職官姓 名 ㊦

陸軍下士兵卒休暇ニ關シ地方ニ係ル願出取扱手續

二二三



- 一 此證書ハ表記ノ者ニ休暇ヲ與フルノ證トス
- 一 休暇日數何日(往復日數何日)
- 一 何月何日何時何地出發何地ニ至リ何月何日何時マテ必ス何地ニ歸着スヘシ

裏  
年 月 日

一 市町村制ヲ實施セサル地方ニ在テハ市町村長ノ職務ハ區長又ハ戸長ニ於テ取扱ヘシ

陸軍省令第二十二號 (明治二十八年十月三十一日)

陸軍准士官下士文官採用細則

第一條 本則トアルモノハ陸軍准士官下第一條ニ依リ文官奉職ヲ請願セント欲スル者ニシテ第一項ニ該當スル者ハ第一書式第二項及第三項ニ該當スル者第二書式及第三書式ニ依ルヘシ

第一書式 料紙美濃紙以下倣之

某 儀

某戰役(公務上)ノ傷痕(疾病)ニ依リ過ル年月日現役ヲ退キ(免官相成)候ニ付陸軍准士官下士文官採用規則ニ依リ文官奉職仕度候間御採用相成度別紙履歷書(陸軍出身後ノ經歷及賞罰等ヲ詳細ニ記載シ正副二通)並ニ診斷書(診斷書トハ傷痕若クハ疾病ヲ證差出スヘシ以下履歷書トアルモノ倣之)及伎倆證明書寫相添此段奉願候也

道廳(府)(縣)(國郡)(區)(町)(村)族籍  
退役(豫備)(後備)(元何官)

年 月 日  
官 姓 名 印  
年 號 月 日 生



陸軍大臣爵姓名殿 (豫備後備役ノ者ニ在テハ宛名ヲ所管長官トナシ左ノ與印ヲ要セス) 年號月何年何箇月  
 前書ノ趣調査候處相違無之候也

道廳(府)(縣)(郡)(區)(市)(町)(村)長 姓 名 印  
 年月日

第二書式

來ル(過ル)年月日退職(現役滿期)相成候ニ付陸軍准士官下士官採用規則ニ因リ  
 文官奉職仕度候間御採用相成度別紙履歷書並ニ伎倆證明書寫相添此段奉願候也  
 隊號(所管)(豫備)(後備)  
 官 姓 名 印  
 年 月 日  
 年號月日生  
 年號月何年何箇月

(所管長官)

職官姓名殿

第三書式

某 儀

過ル年月日退役(現役滿期免官)相成候ニ付陸軍准士官下士官採用規則ニ據リ文  
 官奉職仕度候間御採用相成度別紙履歷書並ニ伎倆證明書相添此段奉願候也

道廳(府)(縣)(國郡)(區)(町)(村)族籍

退役(元何官)

官 姓 名 印  
 年 月 日

年號月日生  
 年號月何年何箇月

陸軍大臣爵姓名殿

前書之趣調査候處相違無之候也



年月日

道廳(府)(縣)郡(區)(市)(町)(村)長  
姓名印

第二條 願書及履歷書ハ楷書又ハ行書ヲ以テ自ラ之ヲ書スヘシ

第三條 本則第五條ニ因リ教官技術官タランコトヲ望ム者及某官廳ニ限リ奉職センコトヲ望ムモノハ其志願ノ廳名ヲ願書中ニ記載シ又教官技術官志願ノ者ニ在テハ其習得セシ學術ヲ履歷書中ニ記載シテ差出スヘシ

但教官技術官タルノ志願ヲナシ合格セサルモノハ更ニ普通判任官タルヲ請願スルコトヲ得

第四條 本則第一條ノ資格ヲ有スト雖モ服役以來左ノ項目ニ觸ル、者ハ請願スルヲ得ス又既ニ請願ノモノハ其願無効ニ属ス

- 一 禁錮ノ刑ニ處セラレタル者
- 一 賭博犯ニ付懲罰ニ處セラレタル者

第五條 本則第一條ニ依リ請願スル者アルキハ所管長官又ハ北海道廳長官府縣知事

ニ於テ其請願書類ヲ審査シ陸軍大臣ニ進達スヘシ

第六條 本則第五條ニ因リ各官廳ニ於テ試験ヲナセシキハ其試験ノ科目及合格不合格ノ旨ヲ直ニ陸軍省ニ通牒スルモノトス

第七條 各官廳ニ於テ請願者ヲ採用セシ上ハ直ニ其官等ヲ陸軍省ニ通牒スルモノトス

第八條 各官廳ニ於テ請願者ヲ採用シ他日非職ヲ命シ又ハ本官ヲ免シタルトキハ其理由ヲ陸軍省ニ通牒スルモノトス

第九條 教官技術官タランコトヲ望ム者受験ノ爲メ官廳ニ往復スル旅費ハ凡テ自辨タルヘシ

第十條 本則第十條ニ因リ其請願ヲ取消サント欲スルキ又ハ請願者ノ身上ニ異動ヲ生シ或ハ轉居轉籍若クハ處刑等ニテ履歷上改正ヲ要スルコトアルキハ其旨ヲ詳記シ最初願出ノ手續ニ因リ届出ヘシ



勅令第百十八號 (明治二十五年十二月廿一日)

陸軍軍人ト成ルヘキ諸生徒ニシテ平時屯營内又ハ野外ニ於テ演習中傷痕ヲ受ケ若クハ之ニ原因シテ疾病ニ罹リ將來軍人ノ服役ニ堪ヘス退學ヲ命シタルモノハ左ノ區別ニ依リ一時限リ手當金ヲ給スコトヲ得

- 一 軍人恩給法第九條ノ各項ニ等シキ傷痕ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタルトキハ同法第三號表ノ各項ニ從ヒ陸軍卒ノ金額六箇年分ヲ給ス
- 二 軍人恩給法第十四條第二項ニ等シキ傷痕ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタルトキハ同法第三號表第六項陸軍卒ニ相當スル一箇年ヨリ少カラス五箇年分ヨリ多カラサル金額ヲ給ス

前項ノ傷痕疾病輕重ノ等差ハ陸軍大臣之ヲ定ム

勅令第百九十二號 (明治二十七年十一月二十四日)

陸軍軍人軍屬歸鄉療養者給與規則

- 第一條 陸軍軍人軍屬ニシテ戰役ニ從事シ傷痕ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル者病院ニ於テ治療ノ後郷里ニ復歸療養セシムルトキハ本規則ニ依リ給與ス
- 第二條 歸鄉療養中手當トシテ軍人ニハ第一表ノ金額軍屬ニハ本俸三分ノ二ヲ給ス
- 第三條 歸郷ノ際歸郷療養ノ者ニ三回限リ病衣一具ヲ給ス  
傷痕ノ狀況ニ依リ簡易ノ補欠器械若クハ副木等ヲ要スルモノハ一回限リ之ヲ給スルコトヲ得
- 第四條 歸郷旅費ハ當該病院所在地ヨリ本籍地若クハ寄留地迄順路ニ應シ出發ノ際精算拂ト爲シ第二表ノ金額ヲ給ス但途中川留、雪支、船待其他避クヘカラサル事故ノ爲メ滞在シ其ノ事由確實ナルモノハ日數ニ應シ同表ノ日當ヲ追給ス  
傷項策定ノ爲メ召喚ヲ要スルトキモ亦前項ニ準シテ往復ノ旅費ヲ給ス
- 第五條 歸郷療養中傷痕、疾病再發シ地方醫師若クハ地方病院ニ就キ治療ヲ受ケタル者ハ其ノ醫師又ハ病院ノ證明ニ依リ實費ヲ官給スルコトアルヘシ
- 第六條 俸給其他從來受クル所ノ諸給與ハ歸郷療養中其支給ヲ停止ス

陸軍軍人軍屬歸鄉療養者給與規則自第一條至第六條







陸軍軍人軍屬歸鄉療養者給與規則細則自第一條至第三條

陸軍省令第廿三號 (明治二十七年十二月一日)

陸軍軍人軍屬歸鄉療養者給與規則細則

第一條 本規則第二條ノ手當金ハ傷痕、疾病者現時所屬ノ師團若クハ其留守師團司令部所在地ノ監督部ニ於テ毎月之ヲ支給ス但師團ニ屬セサル者ハ總テ臨時陸軍中央金櫃部ニ於テ支給ス

歸鄉療養者ハ毎月末日ニ於テ其月分ノ手當金請求書第一號ニ郡區長若クハ市町村長ノ生存證明ヲ得師團若クハ其留守師團司令部又ハ陸軍省經理局第三課ヲ經テ當該監督部又ハ臨時陸軍中央金櫃部ニ出シテ受領スヘシ

第二條 手當金ハ歸鄉療養ヲ命セラレタル翌日ヨリ退職、免官、免役、現役免除、常備、後備役免除ヲ包含ス以下同シ若クハ復職復隊ヲ命セラレタル日マテ支給ス但死亡スルトキハ其當日マテ支給ス日割計算ノ法ハ月額ニ支給スヘキ日數ヲ乘シ其月ノ現日數ヲ以テ除シ四捨五入厘位ニ止メテ支給額ヲ得ルモノトス

第三條 本規則第三條ノ病衣、補缺器械又ハ副木類ハ歸鄉ヲ命シタル病院ニ於テ支給ス

第四條 本規則第四條ノ旅費ハ行程三里以上ニアラサレハ之ヲ給セス但三里未満ト雖モ歩行シ難キモノハ車馬料ヲ給ス

旅費計算ノ法ハ陸軍給與令第六十六條及同細則第九章第一條乃至第三條ニ依ル途中ニ於テ川留、雪支、船待其他避クヘカラサル事故ノ爲メ滞在シタルトキハ其滞在地ノ郡區長若クハ市町村長ノ事實ヲ證明セル書面ヲ得テ日當ヲ請求スルモノトス

第五條 歸鄉旅費ハ歸鄉ヲ命シタル病院ニ於テ支給シ召喚旅費ハ召喚ヲ命シタル處ニ於テ支給ス

第六條 本規則第五條ノ治療費ヲ請求セントスル者ハ地方醫師若クハ地方病院ノ證明書第二號ニ請求書第三號ヲ添ヘ歸鄉ヲ命セラルタル病院へ差出スヘシ但平時ノ姿勢ニ復シ歸鄉ヲ命セラレタル病院閉鎖セル場合ニ在テハ在住所管ノ師團司令部ヲ經テ當該衛戍病院へ差出スヘシ病院ニ於テハ之ヲ審査シ正當ト認ムルトキハ

陸軍軍人軍屬歸鄉療養者給與規則細則自第四條至第六條 二四五



其治療費ヲ支給スヘシ

第七條 傷痍、疾病再發者ニシテ陸軍病院ニ於テ治療ヲ爲ストキハ其治療ヲ官給トス但入院セシムルトキハ其食料ヲ自辨セシム

第八條 傷痍、疾病全癒シ復職復隊ヲ命セラレタル者ハ其所屬部隊ニ於テ居住地ヨリ部隊所在地マテ第四條ノ例ニ依リ陸軍給與令第三十二表ノ旅費ヲ給ス

第九條 歸鄉療養ヲ命シタル病院ハ當該傷痍、疾病者ノ所屬部隊並居住地官氏名及歸鄉ヲ命シタル年月日ヲ現時所屬ノ師團監督部師團ニ屬セサル者ハ並ニ現時本人ノ俸給其他ノ給與ヲ爲シタル部隊へ通報スルモノトス陸軍省經理局第三課

現時俸給其他ノ給與ヲ爲シタル部隊ニ在テハ前項ノ通報ニ依リ歸鄉ヲ命セラレタル翌日ヨリ之カ支給ヲ止ム退職、免官、免役若クハ復職復隊ヲ命シタルトキハ其所屬部隊ヨリ直ニ之ヲ手當金支給ノ廳ニ通報スヘシ

第十條 歸鄉療養中死亡シタルトキハ其遺族若クハ親戚ヨリ郡區長若クハ市町村長ノ證明書式第四號ヲ得テ歸鄉ヲ命セラレタル病院へ届ケ出ヘシ但平時ノ姿勢ニ復シ

歸鄉ヲ命セラレタル病院閉鎖セル場合ニ在テハ第六條但書ニ同シ

第十一條 甲師團ノ歸鄉療養者ノ居住地乙師團ノ所管ナルトキハ其手當金ノ支給ヲ

乙師團監督部ニ請求スルコトヲ得此場合ニ在テハ本人ヨリ甲師團監督部へ願出テ

甲師團監督部ハ其名籍ヲ乙師團監督部ニ移スモノトス

臨時陸軍中央金櫃部ヨリ手當金ノ支給ヲ受クヘキ者其居住地第一師管外トナルト

キハ前項ノ例ニ準ス

第一號書式 用紙半紙

手當金請求書

一金何圓也

但歸鄉療養手當金何年何月分(何年何月何日ヨリ何日迄ノ分)

右御渡相成度候也

何府(縣)何郡(區)(市)何町(村)何番地住

何師團(軍)何部(隊)附

陸軍軍人軍屬歸鄉療養者給與規則細則第十一條第一號書式

二四七



年月日

官氏名印

何師團監督部(臨時陸軍中央金櫃部)

御中

右生存者ニ相違無之證明候也

何府(縣)何郡(區)(市)何町(村)長

年月日

氏名印

注意

「支給廳ノ所在地外ニ居住ノ者ハ此請求書ヲ郵送スルモ妨ケナシ此場合ニ在テハ金額ノ送付ヲ受ケタルトキ直ニ受領證書ヲ郵送スルモノトス」

「支給廳ノ所在地ニ居住ノ者ハ此請求書ヲ持參シ金額引替ニ受領證書ヲ差出スモノトス」

「以下金額受領ノトキハ前二項ニ準ス」

第二號書式 用紙半紙

證明書

府(縣)郡(區)(市)町(村)番地

陸軍何兵何等卒 氏名

右ハ何年何月何日何々ノ爲メ診ヲ請フニ依リ之ヲ診スルニ當時ノ症狀何々依テ何々ノ部ニ何々ノ手術(何々ノ療法)ヲ施シ爾後經過云々治療(死亡ノモノハ遂ニ何々ニ依リ何月何日死亡ト)セシモノニシテ既往何々ノ傷痕(症狀ハ成ルヘ)再發シタルモノト診斷ス而シテ右治療中ニ消費シタル入院料(診察料、藥價)ハ別紙明細書ノ如シ(別紙ハ適宜テ金額内譯ヲ詳記シ署名捺印スヘシ)前書之通證明候也

府(縣)郡(區)(市)町(村)番地

醫師(何病院主任)醫

年月日

氏名印

第三號書式 用紙半紙

請求書

陸軍軍人軍屬歸郷療養者給與規則細則第三號書式



何府(縣)何郡(區)(市)何町(村)何番地住

官 氏 名 印

右何年何月何日歸鄉療養ヲ命セラレ候處何月何日創傷(病症)再發何月何日治療(死亡)候ニ付右加療ノ爲メ金何程ヲ費シ候間陸軍軍人軍屬歸鄉療養者給與規則第五條ニ依リ該費下付相成度別紙醫師證明書相添及請求候也

年 月 日

右 氏 名 印

何陸軍豫備病院(何衛戍病院)

御 中

第四號書式 用紙半紙

死 亡 届

何府(縣)何郡(區)(市)何町(村)何番地住  
何師團(軍)何部(隊)附

(死亡者ニ在テハ遺族署名捺印スヘシ)

官 氏 名

右何年何月何日歸鄉療養命セラレ候處何々ニ依リ何月何日致死去候間此段及御届候也

右遺族(親戚)

年 月 日

氏 名 印

何陸軍豫備病院(何衛戍病院)

御 中

前書之通相違無之候也

何府(縣)何郡(區)(市)何町(村)長

年 月 日

氏 名 印

勅令第百六十四號 (明治廿七年九月七日)

第一條 陸海軍雇員、軍艦乗組傭人、官用船舶ノ船員若クハ鐵道從事員其他陸海軍傭人等ニシテ戰地ニ於テ公務ノ爲メ傷痕ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ又ハ之ニ原因シテ死

勅令第百六十四號第一條



歿シタルトキハ本令ニ依リ一時限リ手當金ヲ給ス

戰地ニ非ラサルモ出征事務ニ關シ公務ノ爲メ死傷シタルトキ亦前項ニ同シ

第二條 傷痍疾病手當金ハ軍人恩給法第九條ニ掲クル各事項ニ準シ別表各項ニ依リ之ヲ給ス

傷痍疾病ニシテ軍人恩給法第九條第一乃至第六ノ事項ヨリ輕キ者ニハ別表第七項ノ金額ヲ給ス

第三條 左ニ掲クル者ニハ別表ノ甲額ヲ給ス

一 雇員又ハ軍艦乗組備人、官用船舶ノ船員若クハ鐵道従事員ニシテ其ノ職務士官ニ準スヘキ者

二 臨時兵務ニ服スル者

第四條 左ニ掲クル者ニハ別表ノ乙額ヲ給ス

一 雇員、軍艦乗組備人、官用船舶ノ船員若クハ鐵道従事員ニシテ其ノ職務下士ニ準スヘキ者

二 雇員ニシテ月俸十五圓以上ヲ受クル者

第五條 左ニ掲クル者ニハ別表ノ丙額ヲ給ス

一 雇員、軍艦乗組備人、官用船舶ノ船員若クハ鐵道従事員ニシテ其職務卒ニ準スヘキ者

二 雇員ニシテ月俸十五圓未滿ヲ受クル者

第六條 第四條第二及第五條第二ノ月俸額ハ日給ヲ受クル雇員ニ在テハ日給ノ三十日分トス

第七條 常時備人ニハ別表ノ丁額ヲ臨時備人ニハ戊額ヲ給ス

第八條 軍艦乗組備人ニハ第三條乃至第五條ノ金額ノ外仍各本額ノ四分ノ三ヲ増給ス

第九條 扶助料又ハ弔祭料ハ別表ニ依リ死者ノ遺族ニ給ス但既ニ傷痍又ハ疾病手當金ノ給與ヲ受ケタル者ノ遺族ハ此限ニアラス

第十條 軍艦乗組備人若クハ臨時兵務ニ服スル者ヲ解放スルトキハ其勤勞ニ依リ慰



勞金トシテ各給料二箇月分以内ノ金額ヲ給スルコトヲ得

第十一條 第一條第二項ニ該ル者ノ區域及第二條傷痍疾病ノ等差並ニ第二條第四條第五條ノ士官下士卒ニ準スヘキ職務ノ區分ハ陸海軍大臣之ヲ定ム

死歿傷痍疾病手當金表

區分	死		傷		痍		疾		病	
	弔祭料	遣族扶助	一	二	三	四	五	六	七	項
甲	三十圓	百二十圓	百五十圓	百三十圓	百二十圓	百十圓	百圓	九十圓	九十圓	八十圓
乙	二十五圓	百圓	百十五圓	百十圓	百圓	九十圓	八十圓	七十圓	七十圓	六十圓
丙	二十圓	八十圓	百圓	九十圓	八十圓	七十圓	六十圓	五十圓	五十圓	四十圓
丁	十五圓	六十五圓	七十五圓	六十五圓	六十圓	五十圓	四十五圓	三十五圓	三十五圓	二十五圓
戊	十圓	五十圓	五十圓	四十圓	三十圓	三十圓	二十五圓	二十圓	二十圓	十五圓

備考 傷痍者ノ治療費ハ總テ官給トス若シ自己治療ヲ許可シタルトキハ治療費トシテ金三十圓以内ヲ支給スルコトヲ得

海軍省令第七號 (明治二十七年七月二日)

海軍豫備役後備役下士卒臨時召集令

第一章 總則

第一條 海軍豫備役後備役下士卒臨時召集ハ戰時若クハ事變ニ際シ鎮守府司令長官ヲシテ行ハシムルモノトス

第二條 臨時召集ハ時トシテ同時ニ全豫備役若クハ全後備役下士卒ヲ召集スルコトナク時ノ形勢ニ應シ所要ノ人員ノミヲ召集スルコトアルヘシ但此ノ場合ニ於テハ

特ニ明治何年何月何日以後ニ現役ヲ離レタル者ヲ召集スヘキノ令アルモノトス

第三條 臨時召集地ハ常ニ各豫備役後備役下士卒ノ兵籍ヲ管スル鎮守府海兵團トス

第四條 臨時召集ニハ召集令狀ヲ發スルモノトス

第五條 臨時召集ノ發令アリタルトキハ各當事者ハ晝夜ヲ分タス其ノ事務ヲ處理ス

ヘキノトス

第二章 召集ニ關スル平常ノ準備

海軍豫備役後備役下士卒臨時召集令自第一條至第五條



第六條 召集令狀<sup>樣式第一</sup>ハ其ノ封筒<sup>樣式第二</sup>及領收證<sup>樣式第三</sup>ト共ニ海兵團ニ於テ之ヲ調製シ豫メ之ヲ島廳郡區市役所ニ送附シ島廳郡區市役所ニ於テハ之ヲ海軍豫備役(後備役)下士(卒)名簿ニ照シ合セ其ノ異同ヲ確メ召集ノ發令アル迄之ヲ保管シ且豫備役後備役下士卒身上ニ異動アル毎ニ適當ノ訂正ヲ施スヘシ

第七條 海兵團ニ於テハ前條ノ召集令狀ノ外ニ尙ホ旅費交附時日證票<sup>樣式第四</sup>ヲ作り召集令狀ト共ニ島廳郡區市役所ニ送附シ置クヘシ

旅費交附時日證票ハ實際ノ旅費ヲ交附シタル時日ヲ證明スルノ用ニ供スルモノニシテ島司郡長及市ノ收稅署長ハ各自ニ旅費ヲ交附スルト同時ニ該票ニ其ノ月日時ヲ記入スヘキモノトス

第八條 豫備役後備役下士卒他ノ島郡區市ニ轉籍シタルトキ及海軍省令第六號ノ許可ヲ得タルトキハ其ノ者ノ召集令狀及旅費交附時日證票等ハ其ノ都度速ニ之ヲ轉籍若クハ應召地ノ島廳郡區市役所ニ轉送スヘシ

第九條 北海道廳及各府縣ニ於テハ召集ニ應スル豫備役後備役下士卒休泊ノ爲メニ

豫メ鎮守府ニ到ル沿道便宜ノ地ニ於テ海軍軍用旅舍ヲ撰定シ之ヲ憲兵隊及警察署ニ通知シ置クヘシ但本條ノ旅舍ヲ選定スルハ約束ヲ以テ定ムルモノトス

第十條 豫備役若クハ後備役下士卒海兵團ニ參著スルトキ之ニ被服、食器ヲ給與シ私服ヲ格納シ補充隊ヲ編制シ又ハ直ニ兵員ヲ要スル艦船隊廳等ニ勤務ヲ命スル等ノ方法ハ豫メ鎮守府ニ於テ之ヲ定メ事ニ當テ混雜ノ憂ナキヲ期スヘシ

第十一條 臨時召集ニ關セル達文、通知書等<sup>第十三條第十、四條等參看</sup>ハ各當事者ニ於テ豫メ簡明ナル文案(電報案共)ヲ定メ且成ルヘク之ヲ關係ノ官廳役場等ニ通知シ置クヘシ

第十二條 島廳郡區市役所ニ於テハ管地内在籍ノ豫備役若クハ後備役下士卒ノ人員、地形等ニ應シ召集令狀ヲ配達スルニ最モ便宜且迅速ナル方法ヲ豫定シ置クヘシ

### 第三章 召集手續

第十三條 豫備役若クハ後備役下士卒臨時召集ノ令アリタルトキハ鎮守府司令長官ハ之ヲ其ノ部下ニ達シ且同時ニ北海道廳長官、府縣知事、憲兵司令官<sup>東京外ニ於テハ憲兵隊長以下皆</sup>同シ警視總監、大審院長、控訴院長、地方裁判所長、檢事總長、檢事長及檢事正ニ通



知スヘシ

第十四條 北海道廳長官、府縣知事ハ前條ノ通知ニ從ヒ之ヲ島司郡區市長及警察署長ニ達シ警視總監ハ同條ノ通知ニ從ヒ之ヲ警察署長ニ達スヘシ

第十五條 憲兵司令官ハ第十三條ノ通知警察署長ハ第十四條ノ通知ニ從ヒ各部下ノ憲兵、警部、巡查ヲシテ左ノ件々ヲ執行セシムヘシ但憲兵隊ヲ置ケル府縣ニ於テハ憲兵主トシテ之ヲ擔當シ警部、巡查ハ之ヲ補助シ憲兵隊ヲ置カサル府縣ニ於テハ警部、巡查專ラ之ヲ擔任スヘシ

- 一 召集ニ應スヘキ各豫備役若クハ後備役下士卒ノ家ニ對リ遲滯ナク發足セシヤ否ヤヲ調査シ若シ故ナク猶豫スル者アルトキハ速ニ發足ヲ督促スルコト
- 二 船舶所有主ノ家若クハ會社等ニ到リ港内碇泊ノ船舶乗組員中ニ豫備役若クハ後備役下士卒ノ有無ヲ質シ若シ其ノ之レ有ルヲ知ラハ其ノ船舶ニ到リ之カ發足ヲ督促スルコト

三 豫定ノ海軍軍用旅舎ニ到リ「海軍軍用旅舎」ト記シテ表出セシムルコト

四 鎮守府ニ到ル沿道ニ於ケル渡船場、停車場及波止場等ニ出張シテ旅行ノ便宜ヲ與フルコト

五 旅費支給ノ場所ニ出張シ吏員ヲ補助シテ混雜ヲ制スルコト

六 憲兵屯所、同分屯所、警察署、同分署、巡查派出所其ノ外公衆ノ注目シ易キ場所ニ警報樣式第五ヲ揭示スルコト

第十六條 島司郡長ハ第十四條ノ通知ニ從ヒ之ヲ町村長ニ達シ且召集令狀中ニ年月日旅費支給ヲ始ムル時日及場所ヲ記入シ之ヲ各自ニ配達シ其ノ領收證ヲ徵スヘシ區長及市長ハ同條ノ通知ニ從ヒ召集令狀中ニ年月日ヲ記入シ且其市ノ收稅署長（府縣知事ニ於テ定メタル者）ト協議シ旅費支給ヲ始ムル時日及場所ヲモ記入シ區長及市長ハ此ノ時又其ノ保管セル旅費交附時日證票ヲ收稅署長ニ交附スヘシ之ヲ各自ニ配達シ其ノ領收證ヲ徵スヘシ本條ノ召集令狀ヲ配達スルニ當テ本人其ノ家ニ在ラサルトキハ其ノ家族親族若クハ召集通報人ニ之ヲ交附シテ其ノ領收證ヲ徵スヘシ

島廳郡區市役所町村役場ニ於テモ召集發令ニ從ヒ其ノ揭示場ニ之カ警報樣式第五ヲ掲



クヘシ

第十七條 召集令狀ノ領收證ハ島司郡區市長之ヲ取纏メ務メテ速ニ海兵團長ニ送附スヘシ

第十八條 豫備役若クハ後備役下士卒既ニ召集令狀ヲ領收セシトキハ二十四時間以内ニ發足シ旅費支給ヲ始ムル令狀ノ裏面ニ於テ指示サレタル旅費支給場所ニ到リテ旅費及旅費交附時日證票ヲ受領シ一日行程少クトモ十二里詰沿道ニ汽車汽船ノ拘ラス之ニヲ以テ旅行シ本籍海兵團ニ參著シ召集令狀履歷表及旅費交附時日證票ヲ差出シテ命ヲ待ツヘシ

召集地ニ到ルノ途中汽車汽船ニ事故アリ若クハ疾病川支等ノ爲メニ旅行ノ延滞ヲ生シタルトキハ其ノ事由ト延滞セル時日ヲ記シ疾病ナレハ醫  
師ノ診斷書汽車ノ事故ナレハ驛長若クハ會社、汽船ノ事故ナレハ船長、事務長若クハ會社、川支等ナレハ其ノ地ノ憲兵、警察官、島司郡區市長若クハ町村長ノ證印ヲ受ケ參著ノトキ之ヲ海兵團長ニ差出スヘシ

第十九條 豫備役若クハ後備役下士卒海兵團ニ參著シタルトキハ海兵團長ハ其ノ召集令狀ヲ引揚ケ履歷表ヲ點檢シ身體ヲ檢査シ終テ之ニ被服、食器ヲ給シ私服ヲ格納シ或ハ之ヲ補充隊ニ編制シ或ハ所要ノ艦船隊廳ニ勤務ヲ命スル等鎮守府司令官ニ於テ豫メ定メタル方法ニ依リ處分スヘシ但身體檢査ニ於テ到底兵役ニ堪ヘスト認ムル者アルトキハ其ノ兵役ヲ免シ旅費ヲ給シテ歸郷セシムヘシ

第二十條 召集令狀配達ヲ受クルトキ豫備役若クハ後備役下士卒犯罪失踪旅行寄留等ニテ家ニ在ラス二十四時間以内ニ發足シテ召集ニ應セシムル能ハサル者ハ家族親族若クハ召集通報人其ノ事由ヲ詳記シ憲兵憲兵隊ヲ置カサル府  
縣ニ於テハ警察官ノ證認及市町村長ノ與書證印ヲ受ケ島司郡區市長ヲ經テ海兵團長ニ届出ツヘシ其ノ召集令狀受領後逃亡セル者アルトキモ亦同シ

本條ニ當ル下士卒ノ召集令狀ハ前項ノ届書ヲ差出ストキ之ヲ島司郡區市長ニ返附スヘシ

第二十一條 豫備役若クハ後備役下士卒召集令狀ヲ受領セルトキ傷痍疾病若クハ病



後ニテ二十四時間以内ニ發足シテ召集ニ應スル能ハサルトキハ其ノ届書ニ市町村長ノ與書證印ヲ受ケ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ島司郡區市長ヲ經テ之ヲ海兵團長ニ届出テ且其ノ召集令狀ヲ島司郡區市長ニ返附スヘシ

第二十二條 第二十條及第二十一條ノ豫備役若クハ後備役下士卒傷痍疾病快復若クハ犯罪旅行等ノ事故止ミタルトキハ速ニ島廳郡區市役所ニ到リ召集令狀ヲ受取り且其ノ指示ニ從ヒ旅費及旅費交附時日證票ヲ受取り直ニ本籍海兵團ニ參著シ召集令狀履歴表及旅費交附時日證票ヲ差出シテ命ヲ待ツヘシ

第二十三條 召集ノ期ニ遅ル、者アルトキハ海兵團長ハ第十七條ノ召集令狀ノ領收證第二十條第二十一條ノ届書第十八條第二項ノ旅行延滯事由書及旅費交附時日證票等ヲ參考トシテ其ノ事由ヲ糺問シ懲罰ニ該ル者ハ直ニ之ヲ處分シ刑法ニ該ル者ハ海軍治罪法ニ從ヒ其ノ處分ヲ爲スヘシ

第二十四條 召集ノ事一應其ノ局ヲ結ビシトキハ海兵團長ハ不參ノ人名表ヲ作り各自姓名ノ上ニ不參事由ヲ記シ鎮守府司令長官ニ差出シ鎮守府司令長官ハ之ヲ海軍

大臣ニ進達スヘシ

附則

第二十五條 臨時召集ニ關スル旅費支給ノ準備、手續等ハ別ニ之ヲ定ム

第二十六條 本令ニ於テ町村長トアル場合ハ町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ戶長トス様式第一 曲尺六寸

召集令狀

(何)備役

海軍(何官職) (姓 名)

召集ヲ命ス

明治(何)年(何)月(何)日

(何)鎮守府 印

表

曲尺四寸



裏

- 召集令狀ニ對スル心得
- 一 旅費ハ來 日午前後時ヨリ 二於テ支給スヘシ
  - 二 此令狀ヲ受取タルトキハ必ス二十四時間以内ニ發足シ 發足ノ節 歴表ヲ持參スル 前記ノ場所ニ到リ旅費及旅費交附時日證票ヲ受テ忘ルヘカラス
  - 三 取リ 旅費ヲ受取ルトキ 一日行程少クトモ十二里 沿道ニ汽車汽キハ里數ニ拘ララ 以テ旅行シ鎮守府海兵團ニ參著シ此令狀、履ス之ニ依ルヘシ
  - 四 歴表及旅費交附時日證票ヲ差出シテ命ヲ待ツヘシ 發足ノ節ハ前記ノ印形履歴表ノ外ニ私服ヲ包ム爲メニ風呂敷ノ類ト之ニ附スル姓名札成ル可ク木又ハ革等ニテヲモ持參スヘシ
  - 五 召集地ニ到ルノ途中汽車汽船ニ事故アリ若クハ疾病川支等ノ爲メニ旅行ノ延滞ヲ生シタルトキハ其事由ト延滞セル時日ヲ記シ疾病ナレハ醫 汽車ノ事故ナレハ驛長若クハ會社、汽船ノ事故ナレハ船長、事務長若クハ會社、川支等ナレハ其地ノ憲兵警察官島司郡區市長若クハ町村長ノ證印ヲ受ケ參著ノ時之ヲ海兵團長ニ差出スヘシ
- 此令狀ヲ受取リタルトキ傷痍疾病若クハ病後ニテ到底二十四時間以内ニ發足シ能ハサルトキハ其事由書ニ市町村長ノ與書證書ヲ受ケ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ島司郡區市長ヲ經テ之ヲ海兵團長ニ届出テ且此令狀ヲ一先ツ島司郡區市長ニ返附シ置キ快愈ニ至ラハ速ニ之ヲ前記ノ手續ニ依テ届出テ且直ニ島司郡區市長ニ到リ再ヒ令狀旅費及旅費交附時日證票ヲ受取リ(一)ニ記セル如ク海兵團ニ到ルヘシ

様式第二

曲尺六寸二分

表

此召集令狀ノ配達ヲ受ケタルトキ名宛ノ本人犯罪失跡旅行寄留等ニテ家ニ在ラス二十四時間以内ニ發足シテ召集ニ應セシムル能ハサル者ハ家族親族若クハ召集通報人其事由ヲ詳記シ憲兵 憲兵隊ヲ置カサル警察ノ證認及市町村長ノ與書證印ヲ受ケ島司郡區市長ヲ經テ海兵團官長ニ届出ツヘシ 召集令狀ハ之レト同時ニ島 其召集令狀受領後逃亡セ 爾者アルトキモ亦同シ 司郡區市長ニ返附スヘシ

何府(縣)何郡(區)何(町)村何番地  
(何)備役 海軍(何官職) (姓) 名(殿)  
召集令狀在中

曲尺四寸二分

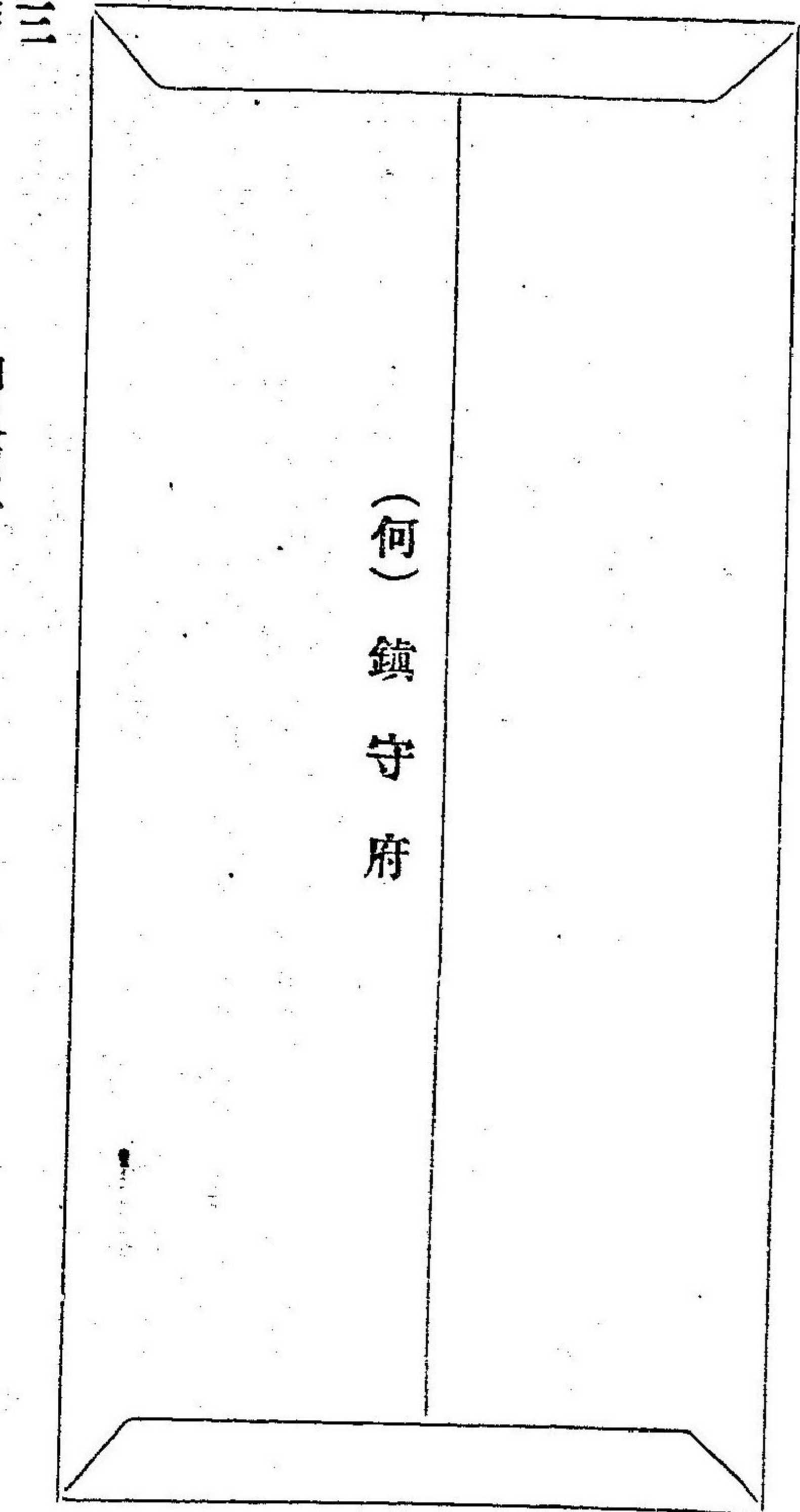
此處へ赤キ紙片ヲ貼附ス

封筒糊封スヘカラス



裏

(何) 鎮守府



様式第三  
截切線

曲尺四寸

領收證

一 召集令狀

一通

右正ニ領收候也

明治(何)年(何)月(何)日午前  
後

曲尺三寸

(何)備役

海軍(何官職)(姓名)印

召集令狀到着ノ時若シ本人不在ナルトキハ家族親  
族若クハ召集通報人ニ於テ之ヲ受取り空白ノ處へ  
署名捺印スヘシ

本領收證ハ封筒ノ下ニ貼附シアルモノトス

様式第四

旅費交附時日證票

(何)備役

海軍(何官職)(姓名)

右(何)月(何)日午前(何)時定規ノ旅費ヲ交附  
セリ

明治(何)年(何)月(何)日

署名



様式第五

警 報

海軍豫備役(後備役)下士卒召集相成候事特ニ明治  
月(何)日以役現役ヲ離レタル者ヲ召集ス  
ルノ令アリタルトキハ之ヲ明記スヘシ

明治(何)年(何)月(何)日

海軍省令第八號 (明治二十七年七月二日)

海軍臨時召集旅費支出規程

第一條 海軍臨時召集旅費ハ島司部長北海道函館區及札幌市長ニ於テ毎年三月一日  
現在スヘキ其管内在住ノ海軍豫備後備ノ臨時應召員ヲ豫定シ之ニ要スル召集旅費  
ヲ計算シ召集旅費概算表ヲ作り三月三十一日マテニ所轄鎮守府海兵團へ差出スヘ

シ鎮守府海兵團ハ前項概算表ノ金額ヲ調査シタル後鎮守府監督部ニ送付ス鎮守府  
監督部ハ該金額人員ノ合計表ヲ調製シ海軍省ニ届出テ概算表ハ海軍司計部ニ交付  
スヘシ

海軍省ハ毎年一回海軍臨時召集旅費概算表ヲ作り大藏省ニ送付ス此ノ概算表ハ翌  
年四月三十日マテ有効ノモノトス

第二條 北海道廳長官府縣知事ハ前條召集旅費ヲ應召者ニ給與スル爲メ便宜ノ地ヲ  
撰定シ其ノ市町村名及第六條第一項ノ現金前渡ヲ受ケ仕拂ヲナスヘキ島司郡長若  
クハ收稅署長ノ官職姓名ヲ取調當該鎮守府監督部ニ豫メ通牒シ置キ爾後該吏員變  
更アルトキハ其時々通牒スヘシ

鎮守府監督部長前項ノ通牒ヲ受ケタルトキハ即時當該海軍司計部ニ通知シ又海軍  
省ニ報告スヘシ

第三條 海軍省ハ第一條ノ届書ニヨリ平時ニ於テ豫メ臨時召集旅費ノ豫算要求書及  
仕拂豫算計算書ヲ調製シ置キ戰時若クハ事變ニ際シ大藏省ヲ經テ要求書ノ裁定ヲ

海軍臨時召集旅費支出規程自第一條至第三條



得即時電信其他ノ方法ヲ以テ鎮守府監督部ヲ經テ海軍司計部ヘ配付豫算ヲ令達スヘシ

第四條 鎮守府監督部ハ前條ノ令達ニ接シタルトキハ臨時召集概算表ノ金額ヲ目的トシ現金前渡ヲ受クヘキ官吏ヘ旅費金額送付方ヲ當該海軍司計部ニ請求スヘシ

第五條 海軍司計部ハ前條ノ請求ヲ調査シ直ニ現金前渡ノ仕拂命令ヲ發行スヘシ

第六條 現金前渡ヲ受クヘキ官吏ハ島司郡長收稅署長トス

島司郡長若クハ收稅署長前條ノ現金前渡ヲ受ケタルトキハ出納官吏現金取扱規則ニ依リ現金ヲ取扱ヒ其ノ管内召集ニ應スヘキ豫備後備在任軍人ニ對シ各自ニ召集地ニ到ル定則ノ旅費ヲ支給スヘシ

臨時召集旅費支給ニ係ル事務ハ最モ迅速ヲ要ス故ニ出納官吏タルモノ現金前渡ヲ受ケタルトキハ晝夜ヲ分タス處辨スヘシ

第七條 島司郡長若クハ收稅署長ハ召集終レハ會計檢査院ニ提出スヘキ仕拂計算書及證憑書類ヲ當該海軍司計部ニ送付スヘシ

廿七年七月海軍省令第十號參看

第八條 應召員ニシテ行程ノ便宜ニ依リ旅費ノ支給ヲ受ケスシテ直ニ召集地ニ參着シタルトキハ所轄鎮守府海兵團ニ於テ之ヲ支給スルコトヲ得此場合ニ於テハ海兵團ヨリ當該現金前渡ヲ受ケタル官吏ニ其旨ヲ通牒スヘシ

第九條 演習召集旅費モ此規程ニ準據シ取扱フヘシ

附則

第十條 本規程ハ發布ノ日ヨリ施行ス但第一條ノ召集旅費概算表ハ本年ニ限リ本規程到達ノ日ノ現在員ニ依リ取調一週日內ニ所轄鎮守府海兵團ニ差出スヘシ

海軍省訓令第一號 (明治二十七年十一月八日)

北海道廳 府縣

本年七月海軍省令第八號海軍臨時召集旅費支出規程ニ依リ出納官吏ニ係ル左ノ件々ハ道廳長官府縣知事ニ於テ執行スヘシ

一出納官吏事故ニ依リ代理ヲ要スルトキ其代理者ノ命免

海軍臨時召集旅費支出規程自第八條至第十條海軍省訓令第一號 二七一



二 會計規則第九十一條第九十二條及第百條ニ依リ要スル検査員立會員若クハ計算書調製セシムヘキ官吏ノ任命

海軍省令第六號

(明治二十七年七月二日)

海軍豫備役後備役下士卒中寄留地又ハ乗組船舶ノ船籍港等ニ於テ召集ニ應セントスル者ノ願届手續左ノ通定ム

一 豫備役及後備役下士卒他廳府縣ニ寄留スル者其ノ地ニ戶籍ヲ有スル者ト同一ノ手續ニ依リ召集ニ應セントスル者ハ寄留地市町村長(市制町村制ヲ施行セサル地ハ區戶長)ノ與書證印ヲ受ケ豫メ本籍鎮守府海兵團長ニ願出其ノ許可ヲ受クヘシ但本項ノ許可ヲ得タルトキハ其ノ寫ニ寄留地市町村長(市制町村制ヲ施行セサル地ハ區戶長)ノ與書證印ヲ受ケ原籍地ノ町村長(町村制ヲ施行セサル地ハ戶長)ヲ經テ郡長ニ島嶼ハ島司ニ市制施行地ハ直ニ市長ニ北海道函館區及札幌區ハ直ニ區長ニ届出且寄留地郡長島司ニモ届出ツヘシ

本項ノ許可ヲ得タル者其ノ寄留地若シ他鎮守府志願兵徵募區ニ屬スルトキハ兵籍モ亦其ノ鎮守府ニ移ルモノトス此ノ場合ニ於テハ本籍鎮守府海兵團長ヨリ該鎮守府海兵團長ニ通知スヘシ

一 豫備役及後備役下士卒海員トナリテ船舶乗組中ノ者ハ願ニ依リ其ノ船舶ノ船籍港若クハ平常運航ノ一港ニ戶籍ヲ有スル豫備役後備役下士卒ト同一ノ手續ニ依リ召集ニ應スルコトヲ得但其ノ願届ノ手續ハ前項ノ例ニ從フヘシ

本項ノ場合ニ於テハ召集ノ令アリシトキ之ヲ通報スヘキ者ヲ定メ(陸上ニ在ル者ニシテ船舶所有者若クハ其ノ代理人等最モ良シ)本項ノ願書中ニ其ノ者ノ住所姓名ヲ記入シ其ノ者ノ捺印ヲ受クヘシ

本項ノ許可ヲ得タル者其ノ召集ニ應スル港地若シ他鎮守府ノ志願兵徵募區ニ屬スルトキハ兵籍モ亦其ノ鎮守府ニ移ルモノトス此ノ場合ニ於テハ本籍鎮守府海兵團長ヨリ該鎮守府海兵團長ニ通知スヘシ



海軍省訓令第五十號 (明治二十年五月)

徵兵令ニ依リ徵集シタル海軍現役ニシテ身上異動ヲ生スルトキハ入營前後ノ別ナク戸主又ハ親族ノ者ヨリ届出郡區戸長與書證印シ横須賀鎮守府へ届出スヘシ

海軍省令第六號 (明治二十一年五月十五日)

海軍豫備兵歸家シタルトキハ其日ヨリ三日以内ニ戸長ニ届出戸長ハ之ヲ郡區長ニ届出可シ

廿一年九月十五號參看

海軍豫備兵後備兵外國へ航海又ハ在留セントスルトキハ其事由ヲ詳記シテ戸長ノ與書證印ヲ受ケ鎮守府海兵團へ願出許可ヲ得可シ

鎮守府海兵團ニ於テ前項ノ願ヲ許可シタルトキハ之ヲ郡區役所ニ通知ス可シ

海軍豫備兵後備兵轉籍寄留又ハ失踪犯罪其他身上ノ異動アルトキハ戸長ノ與書證印ヲ受ケ戸主本人戸主ニシテ失踪犯罪其他ニテヨリ速ニ鎮守府海兵團へ届出郡區長ニハ其寫ヲ以テ届出可シ

各郡區役所ニ於テハ豫備役兵名簿後備兵名簿ヲ備へ置キ身上異動アル毎ニ記入シ置ク可シ

勅令第八十七號 (明治二十五年十月六日)

海軍軍人結婚條例

第一條 海軍軍人結婚ヲ爲スニハ將官並同等官ニ在テハ勅許ヲ仰キ上長官士官准士官ニ在テハ海軍大臣ノ許可ヲ受ケ下士卒ニ在テハ所管長官ノ許可ヲ受クヘシ

第二條 各候補生ハ結婚スルヲ得ス

第三條 現役下士ハ年齢滿二十五歲以上ニ至ラサレハ結婚スルヲ得ス  
現役卒ハ年齢滿二十五歲以上ニシテ一等卒ニ進級シタル後ニ非サレハ結婚スルヲ得ス

第四條 配偶者タルヘキ婦人ハ行狀端正ニシテ年齢十六歲以上ナルヲ要ス

附則

海軍軍人結婚條例自第一條至第四條



海軍軍人結婚條例第五條海軍軍人結婚願出手續第一條

二七六

第五條 海軍武官結婚條例ハ本條例發布ノ日ヨリ廢止ス

海軍省令第二號 (明治二十五年十月七日)

海軍一般

北海道廳 府縣

海軍軍人結婚願出手續

第一條 海軍軍人結婚條例第一條ニ依リ結婚ノ許可ヲ願ハントスル者ハ左ノ書式ニ依リ將官並相當官ハ直ニ海軍大臣ニ差出シ上長官士官及准士官ハ所管長官ヲ經テ海軍大臣ニ差出シ下士卒ハ所轄長ヲ經テ所管長官ニ差出スヘシ

結 婚 願

何府縣何國何郡市區何町村何番地  
華士族平民

何某何女(姉)(妹)

某

何年何月何日生  
何年何月 何年何箇月

年 月 日

官(職) 姓

名 印

海軍大臣(所管長官)宛

前書ノ趣不都合無之ニ付御許可相成度候也

年 月 日

所管長官(所轄長)姓 名 印

身 元 證 書

何府縣何國何郡市區何町村何番地  
華士族平民

何某何女(姉)(妹)

某

何年何月何日生  
何年何月 何年何箇月

海軍軍人結婚願出手續

二七七



海軍軍人結婚願出手續第二條第三條海軍下士服役條例第一條第二條 二七八

右ハ行狀端正ニシテ年齢前書ノ通相違無之候此段保證候也

年 月 日

何府縣何國何郡市區何町村長 姓 名印

第二條 各軍人ノ結婚ハ條例ニ依リ許可ヲ得タル後普通人事ノ手續ヲ爲スモノトス  
第三條 結婚整ヒタルトキハ其旨速ニ准士官以上ハ海軍大臣ニ届出下士卒ハ所管長官ニ届出ヘシ

勅令第五十六號 (明治二十二年四月二十九日)

海軍下士服役條例

第一條 海軍下士ノ服役ヲ分テ現役及豫備役トス

第二條 現役ハ六箇年ニシテ下士ニ任シタル日ヨリ之ニ服シ豫備役ハ四箇年ニシテ現役ヲ終リタル日ヨリ之ニ服ス

卒イ服役年數ヲ通算シ現役十二箇年以上十六箇年未滿ノ者ハ現役ヲ通算シテ滿十六箇年ニ至ルマテ豫備役ニ服セシム

卒ノ服役ヲ通算シテ現役滿十六箇年ヲ過タル者ハ兵役ヲ免ス

第三條 現役中禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ監視ニ付セラレ又ハ逃亡若クハ失踪シタル者其刑期中及逃亡失踪中ノ日數ハ服役年數ニ算入セス

第四條 現役中ハ免役ヲ願フコトヲ許サス但家族自活シ能ハサル事故ヲ生シ本人ヲ要スルトキハ父母若クハ近隣二人以上ノ願ニ依リ現役ヲ免シ豫備役ニ服セシムルコトアル可シ服役中養子分家又ハ絶家廢家再興他家相續人トナルタメ本文ノ事故ヲ生シタル者ハ此限ニ在ラス

前項ニ依リ豫備役ニ入りタル者ハ現役ヲ通シテ十箇年ニ至ルマテ豫備役ニ服セシム

第五條 現役中傷痍若クハ疾病ニ依リ現役ニ堪ヘ難キ者ハ其役ヲ免シ豫備役ニ服セシム

第六條 現役中傷痍若クハ疾病ニ依リ永久服役ニ堪ヘ難キ者其役ヲ免ス

第七條 服役期限己ニ滿ルト雖モ戰時或ハ事變ニ際スルトキ若クハ臨時ニ演習ノ舉



アルトキ又ハ航海中ハ其期限ヲ延ハスコトアル可シ

第八條 下士ノ服役ヲ退キタルトキハ其官ヲ免スルモノトス

附則

第九條

第十條 艦内教授警吏ニシテ現役滿六箇年ヲ過キタル者ハ其役ヲ免シ現役ヲ通シテ十箇年ニ至ルマテ豫備役ニ服セシム現役十箇年ヲ過キタル者ハ服役ヲ免ス

海軍省令第二號 (明治廿八年八月廿四日)

望樓長望樓手任用試驗規則

第一條 望樓長、望樓手ヲ志願スル者ハ海軍大臣ノ告示ニ從ヒ願書第一號ニ履歷書

第二號ヲ添ヘ海軍省ニ差出スヘシ

第二條 望樓長、望樓手ヲ志願スル者ハ任用ノ後滿三箇年以上服役スヘキ者ニアラサレハ出願スルコトヲ得ス

第三條 左ニ掲クル諸項ノ一ニ該ルトキハ望樓長、望樓手ノ任用試験ヲ受クルコトヲ得ス

一 年齢二十年未滿ノ者

二 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

三 身代限又ハ家資分散ノ處分ヲ受ケ其辨償ヲ終ヘサル者

四 品行不良ノ者

第四條 試験ヲ分チテ身體檢査學術試験ノ二トス學術試験ハ身體檢査ニ合格シタル者ニアラサレハ行ハス

第五條 學術試験科目ハ左ノ如シ

一 望樓長

讀書漢字交リ文 作文通俗文 算術四則ヨリ比例マテ

電信法 船舶信號法

一 望樓手

望樓長望樓手任用試験規則自第三條至第五條



讀書漢字交リ文 作文通俗文 算術四則

電信法 船舶信號法

第一號書式 (用紙美濃ニツ折一通)

望樓長(望樓手)採用試験願

姓 名

何年何月何日生

年號月何年何箇月

私儀望樓長(望樓手)採用試験相受度履歷書相添此段奉願候也

年 月 日

本 籍

現住所

姓 名 印

海 軍 省 御 中

第二號書式 (用紙美濃紙ニツ折一通)

履 歷 書

何府縣華士族平民

戸主或ハ何某男又ハ兄弟伯叔甥附籍

姓 名

何年何月何日生

年號月何年何箇月

一本籍(國都市町村番地ヲ詳記シ寄留ノ者ハ寄留地ノ住所ヲモ詳記スヘシ)

一現何地(右同)

一修學

一職業技藝等

一官廳會社等ノ職務ニ從事シタル事

一賞罰

一身代限又ハ家資分散ノ處分ヲ受ケス(身代限又ハ家資分散ノ處分ヲ受ケシト雖

望樓長望樓手任用試験規則第二號書式



海軍兵學校條例自第一條至第五條

凡辨償ヲ完了セリ  
前書相違無之候也

何府縣何國何郡市區何町村  
市區町村長 本籍ノ市  
區町村長 姓 名 印

勅令第二百十七號 (明治二十六年十一月二十九日)

海軍兵學校條例

- 第一條 海軍兵學校ハ海軍將校ト爲ルヘキ生徒ヲ教育スル所トス
- 第二條 海軍兵學校ノ學科ハ砲術、水雷術、運用術、航海術、機關術及普通學トス
- 第三條 生徒ノ學年ハ四箇年トス
- 但戰時又ハ事變ニ際シテハ之ヲ短縮スルコトアルヘシ
- 第四條 海軍兵學校ニ練習船ヲ附屬セシムルコトヲ得
- 第五條 海軍兵學校ニ左ノ職員ヲ置ク

廿七年九  
月勅令第  
百六十九  
號參看

校長	海軍大佐	一人
副官	海軍大尉	二人内一人ハ教官ヲ以テ兼補ス
教頭	海軍少佐	一人
砲術教官	海軍少佐	一人
水雷術教官	海軍大尉	三人
運用術教官	海軍少佐	一人
航海術教官	海軍大尉	一人
機關術教官	海軍機關少監若 クハ大機關士	一人
普通學教官	海軍大技士	一人
監事長	海軍教授	七人
監事	海軍少佐	一人教官ヲ以テ兼補ス
	海軍大尉	九人内八人ハ教官ヲ以テ兼補ス

海軍兵學校條例第五條



軍醫長	海軍々醫少監	一人
軍醫	海軍大軍醫	一人
	海軍少軍醫	一人
主計長	海軍大主計	一人
	海軍少主計	一人

本條砲術、水雷術、運用術、航海術教官ノ内一人ハ教頭ヲ以テ之ニ兼補ス

本條定員ノ外本職アル者ヲシテ教官ニ兼務セシムルコトヲ得

第六條 校長ハ海軍大臣ニ隸シ校務ヲ管理シ紀律ヲ維持シ及生徒教育ノ責ニ任ス

第七條 校長事故アルトキハ教頭其ノ職務ヲ代理ス

第八條 副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第九條 教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ教授ノ事ヲ監督ス

第十條 教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ各學科ノ教授ヲ擔任ス

第十一條 監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ生徒ヲ監督シ其ノ紀律ヲ維持シ及其ノ體育ノ事ヲ掌ル

第十二條 監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ服務ス

第十三條 軍醫長ハ校長ノ命ヲ承ケ醫務衛生ノ事ヲ掌ル

第十四條 軍醫ハ軍醫長ノ命ヲ承ケ服務ス

第十五條 主計長ハ校長ノ命ヲ承ケ會計給與ノ事ヲ掌ル

第十六條 主計ハ主計長ノ命ヲ承ケ服務ス

第十七條 第五條ニ掲クル職員ノ外左ノ諸員ヲ置キ上官ノ命ヲ承ケ服務セシム

海軍上等兵曹 教員 三人

海軍機關師 教員 一人

海軍下士 二十八人内十八人ハ教員

海軍書記 五人

海軍卒 六十人

第十八條 生徒ハ年齡滿十六年以上十九年未滿ニシテ海軍將校タランコトヲ志願スル者ニ就キ身體檢査及學術試験ヲ爲シ合格シタル者ヨリ其ノ成績順序ニ從ヒ所要



ノ人員ヲ採用ス

第十九條 左ノ諸項ノ一ニ該ル者ハ生徒ニ採用セス

- 一 有妻ノ者
- 二 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者及賭博犯ノ處分ヲ受ケタル者
- 三 復權ヲ得サル家資分散者破産者及身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者若クハ其ノ相續人

第二十條 生徒ノ召募及檢査格例ハ毎年海軍大臣之ヲ告示ス

第二十一條 生徒ハ入校ノ日ヨリ海軍兵籍ニ編入ス

第二十二條 生徒ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ス

第二十三條 生徒ハ左ノ諸項ノ一ニ該ルトキハ退校セシム

- 一 品行不良或ハ怠惰ニシテ訓戒ヲ加フルモ改悛セサル者
- 二 試験ノ成績不良ニシテ卒業ノ目的ナキ者
- 三 傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ先途役務ニ堪ヘ難シト認ムル者

附則

第二十四條 本令ハ明治二十六年十二月二十日ヨリ施行ス但明治二十六年十二月三十一日マテハ機關生徒ヲ置クコトヲ得

海軍省達第四百十八號 (明治二十六年十二月三十日)

海軍兵學校規則

第一條 校長ハ教育上ニ關シ詮議ヲ要スルコトアルトキハ教頭教官中ヨリ指名會同シ會議ヲ開キ之ヲ審議決定スヘシ

第二條 校長ハ海軍兵學校條例第二十三條ニ該當スト認ムル者アルトキハ會議ヲ開キ審議ノ上海軍大臣ニ具申スヘシ

第三條 校長ハ每學期及全學期ノ終ニ於テ會議ヲ開キ生徒ノ學術品行等ノ實況ヲ審議シ其ノ優劣ヲ議決シ成績表ヲ調製ス可シ

第四條 校長ハ大試験終末大試験及卒業試験ノ成績表ニ意見ヲ附シ教頭ノ意見書ヲ

海軍兵學校條例第二十四條海軍兵學校規則自第一條至第四條 二八九



添へ海軍大臣ニ進達スヘシ

第五條 校長ハ毎學期ノ終ニ於テ教育報告ヲ海軍大臣ニ進達スヘシ

第六條 校長ハ終末大試験ニ及第シタル者ニ海軍大臣ノ認可ヲ得航海練習艦乗組ヲ命ス但練習艦ハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依ル

第七條 校長卒業證書授與式ヲ舉行セントスルトキハ海軍大臣ノ認可ヲ受ク可シ

第八條 校長ハ監事軍醫官主計官若干名ヲ被服糧食委員ト爲シ生徒ノ被服糧食ニ關スル事ヲ掌ラシムルコトヲ得

第九條 校長ハ夏季冬季休業中生徒ニ外宿ヲ許スコトヲ得

第十條 校長ハ海軍大臣ノ認可ヲ得テ毎年十一月生徒ニ入校ヲ命ス

第十一條 副官ハ庶務及官印ノ監守ヲ掌ル

第十二條 教頭ハ教務ヲ整理シ學術及教授上ノ得失ヲ考察シ意見アルトキハ之ヲ校長ニ具申スヘシ

第十三條 教頭ハ試験成績ニ意見ヲ附シ校長ニ差出スヘシ

第十四條 教官ハ學術上若クハ教授上ニ關シ意見アルトキハ教頭ニ開申スヘシ

第十五條 教官ハ試験ヲ行ヒタルトキハ試験成績ニ意見ヲ附シ教頭ニ出スヘシ

第十六條 監事長ハ生徒ノ容儀品行ヲ監督シ體育上ノ得失ヲ考察シ意見アルトキハ校長ニ具申スヘシ

第十七條 監事長ハ生徒ニ犯則者アルトキハ之ヲ取調ヘ意見ヲ附シ校長ニ具申スヘシ

第十八條 監事長ハ毎學期ノ終ニ於テ生徒ノ考科表ヲ校長ニ差出スヘシ

第十九條 監事長ハ准士官以下ノ勤怠ヲ監督シ犯則者アルトキハ之ヲ取調ヘ校長ニ具申スヘシ

第二十條 監事長ハ下士以下ノ身上ニ關スル一切ノ事ヲ擔任ス

第二十一條 兼務監事ハ生徒分隊ノ長ト爲リ隊員ノ身上ニ關スル一切ノ事ヲ監視シ志操ヲ養成スルヲ任トス

第二十二條 兼務監事ハ交番宿直ノ勤務ニ服ス



第二十三條 兼務監事ハ每學期ノ終ニ於テ隊員ノ考科表ヲ監事長ニ出スヘシ  
第二十四條 專務監事ハ下士以下ヲ督勵シ紀律ヲ守ラシメ其ノ行狀技倆ヲ熟知シ且之ニ係ル事務ヲ掌理ス

第二十五條 生徒ハ分隊ニ編成ス

第二十六條 學期ハ四期トシ其ノ終ノ一期ハ航海練習艦ニ於テ教授ス學期ハ每年一月十日ニ始マリ翌年一月九日ニ終ル

第二十七條 毎年七月二十一日ヨリ九月十日マテヲ夏季休業トシ十二月二十一日ヨリ翌年一月九日マテヲ冬季休業トス

第二十八條 生徒ノ召募及檢査格例ハ毎年二月之ヲ告示ス

第二十九條 生徒ノ試験ヲ分チテ左ノ四種トス

一 小試験

二 大試験

三 終末大試験

#### 四 卒業試験

第三十條 試験ノ及第點ハ各科全點數十分ノ五以上トス

第三十一條 大試験若シハ終末大試験ニ及第シタル者ニハ及第證書ヲ授與シ學術優等ノ者ニハ本則第五十二條第一圖ノ賞牌ヲ與フ

大試験若クハ終末大試験ニ及第シタル者ニシテ品行殊ニ善良衆人ノ模範トナルヘキ者ニハ本則第五十二條第二圖ノ賞牌ヲ與フ

第三十二條 前條第一項ノ賞牌ヲ有スル者ニシテ大試験若クハ終末大試験ニ落第スルカ若クハ第二項ノ賞牌ヲ有スル者本校生徒懲戒則又ハ海軍懲戒令ニ觸ルコトアルトキハ之ヲ剝奪ス

第三十三條 卒業試験ニ及第シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第三十四條 大試験、終末大試験及卒業試験ノ成績表ニハ各學科ノ得點及席次ヲ掲載シ且品行點ヲ記入スルモノトス但品行點ハ席次ニ關係スルコトナシ

第三十五條 小試験ハ一學期ヲ適宜三回以上ニ分チ執行スルモノトス但シ第四學期



ニハ小試験ヲ行ハス

第二十六條 一學期間ノ小試験得點ハ之ヲ其ノ期大試験若クハ終末大試験ノ得點ニ合算ス

大試験ノ全點ハ其期各小試験ヲ通シタル合全點ト同數タル可シ

第二十七條 病氣其ノ他己ムヲ得サル事故アリ小試験ニ缺席スル者ハ別ニ試験ヲ行ハス而シテ大試験若クハ終末大試験成績ニ加フルニハ本科ハ大試験若クハ終末大試験ノ科目中ニアル該小試験ニ當ル細目ノ點數ヲ以テシ普通科ハ大試験若クハ終末大試験得點ヲ該一學期間ノ小試験回數ニテ除シタルモノヲ以テス

第二十八條 大試験ハ第一期第二期ノ終ニ於テ行フモノトス

第二十九條 大試験ニハ一學期中ニ教授シタル學科ヲ試験ス

第四十條 大試験成績表ニ掲クル點數ハ大試験得點ト該一學期間小試験ノ得點トヲ合セ二分シタルモノトス

第四十一條 終末大試験ハ第二期ノ終ニ於テ行フモノトス

第四十二條 終末大試験ニハ本科ハ二學期中ニ教授シタル學科ヲ試験シ普通科ハ一學期中ニ教授シタル學科ヲ試験ス

第四十三條 終末大試験成績表ニ掲クル點數ハ本科ニ在テハ前二期ノ大試験成績點數ニ終末大小試験得點ヲ加ヘ二分シタルモノトシ普通科ニ在テハ前二期ノ大試験成績點數ニ終末大試験成績點ヲ加ヘタルモノトス但終末大試験ニ於ケル本科全點ハ前二期大試験合全點ニ第三期小試験合全點ヲ加ヘタルモノト同數タル可シ

第四十四條 卒業試験ハ全學期ノ終ニ本校ニ於テ行フモノトス但航海術ノ實測ハ別ニ試験ヲ行ハス而シテ其ノ點數ハ練習中ニ得タル點數ヲ卒業試験成績ニ加フルモノトス

第四十五條 卒業試験ニハ第四學期中ニ教授シタル學科ヲ試験ス

第四十六條 卒業試験官ハ本校教官中ヨリ校長之ヲ命ス但試験問題ハ校長練習艦長ト協議ノ上定ムルモノトス

第四十七條 卒業試験ノ成績表ニ掲クル點數ハ卒業試験得點實測點數モ含有スニ終末大試験



ノ成績點數ヲ加ヘタルモノトス  
卒業試験全點ハ終末大試験ニ於ケル本科全點ノ半數トス但航海術全點數ノ三分ノ二ハ實測點數ニ充ツ

第四十八條 大試験若クハ終末大試験ニ落第シタルモ前試験ノ成績ヲ考查シ卒業ノ  
目途アル者ニハ一學期ヲ延期修學セシム

卒業試験ニ落第シタル者ニハ再試験ヲ行フモノトス  
傷痕ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ大試験又ハ終末大試験若クハ卒業試験ヲ受クルコト能  
ハサル者ハ前二項ニ準ス

前諸項ノ場合ニ於テハ之ヲ海軍大臣ニ報告スヘシ

第四十九條 前條ノ延期ハ一學期ニ止マルト雖トモ傷痕ヲ受ケタル者又ハ自身ノ不  
攝生ニ依ラサル疾病ニ罹ル者ニシテ學術品行殊ニ優等ナル者ハ特別ノ詮議ニ附ス  
ルコトヲ得

第五十條 定期ノ課程ヲ終リタル者大試験又ハ終末大試験若クハ卒業試験ニ際シ傷

痕ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ試験ヲ受クルコト能ハサルトキハ臨時試験ヲ行フコトヲ得

第五十一條 本校ニ教授用トシテ船艇ヲ附属ス

第五十二條 本則第三十一條ニ掲グル賞牌ノ制式ハ左圖ノ如シ但賞牌ハ上衣右乳部  
ノ下方ニ附著スルモノトス (圖略ス)

勅令第二百十八號 (明治二十六年十一月二十九日)

海軍機關學校條例

第一條 海軍機關學校ハ之ヲ横須賀ニ置キ海軍機關官ト爲ルヘキ生徒ヲ教育シ並ニ

海軍少機關士候補生ニ技術ヲ專修セシムル所トス

第二條 海軍機關學校ノ學科ヲ本科及專科ノ二種トス

本科ハ生徒ノ修ムルモノトシ專科ハ造船、造機及造兵ノ三科ニ分チ本科卒業後其  
ノ科ニ特撰セラレタル海軍少機關士候補生ノ修ムルモノトス

第三條 專科ヲ修ムル海軍少機關士候補生ヲ專科生トス

海軍兵學校規則第五十一條第五十二條海軍機關學校條例自第一條至第三條 二九七



海軍機關學校條例自第四條至第六條

第四條 生徒ノ學年ハ四箇年トシ專科生ノ學年ハ二箇年トス

但戰時又ハ事變ニ際シテハ之ヲ短縮スルコトアルヘシ

第五條 海軍機關學校ニ工場ヲ置キ實習ノ用ニ供ス

第六條 海軍機關學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長 海軍機關大監 一人

副官 海軍大機關士 一人

教頭 海軍機關少監 一人

教官 海軍機關少監 一人 教頭ヲ以テ兼補ス 海軍大機關士四人 海軍教授四人

監事長 海軍機關少監 一人 教頭ヲ以テ兼補ス

監事 海軍大機關士 四人 教官ヲ以テ兼補ス

軍醫長 海軍大軍醫 一人

主計長 海軍大主計 一人

主計 海軍少主計 一人

前項定員ノ外本職アル者ヲシテ教官ニ兼務セシムルコトヲ得

第七條 校長ハ海軍大臣ニ隸シ校務ヲ管理シ紀律ヲ維持シ及教育ノ責ニ任ス

第八條 校長事故アルトキハ教頭其ノ職務ヲ代理ス

第九條 副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第十條 教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ教授ノ事ヲ監督ス

第十一條 教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ各學科ノ教授ヲ擔任ス

第十二條 監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ專科生及生徒ヲ監督シ其ノ紀律ヲ維持シ其ノ體

育ノ事ヲ掌ル

第十三條 監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ服務ス

第十四條 軍醫長ハ校長ノ命ヲ承ケ醫務衛生ノ事ヲ掌ル

第十五條 主計長ハ校長ノ命ヲ承ケ會計給與ノ事ヲ掌ル

第十六條 主計ハ主計長ノ命ヲ承ケ服務ス

第十七條 第六條ニ掲クル職員ノ外左ノ諸員ヲ置キ上官ノ命ヲ承ケ服務セシム

海軍機關學校條例自第七條至第十七條



海軍機關師 教員

二人

海軍下士 教員

四人

海軍書記

三人

海軍技手 教員

十一人内七人ハ兼務

第十八條 生徒ハ年齡十六年以上十九年未滿ニシテ海軍機關官タランコトヲ志願スル者ニ就キ身體檢査及學術試驗ヲ爲シ合格シタル者ヨリ其ノ成績順序ニ從ヒ所要ノ人員ヲ採用ス

第十九條 左ノ諸項ノ一ニ該ル者ハ生徒ニ採用セス

- 一、有妻ノ者
- 二 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者及賭博犯ノ處分ヲ受ケタル者
- 三 復權ヲ得サル家資分散者及破産者及身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者若クハ其ノ相續人

第二十條 生徒ノ召募及檢査格例ハ毎年海軍大臣之ヲ告示ス

第二十一條 生徒ハ入校ノ日ヨリ海軍兵籍ニ編入ス

第二十二條 生徒ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ス

第二十三條 生徒ハ左ノ諸項ノ一ニ該ルトキハ之ヲ退校セシム

- 一 品行不良或ハ怠惰ニシテ訓戒ヲ加フルモ改悛セサル者
- 二 試験ノ成績不良ニシテ卒業ノ目的ナキ者
- 三 傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ先途役務ニ堪ヘ難シト認ムル者

第二十四條 専科生ハ須要ニ應シ海軍少機關士候補生ヨリ海軍大臣之ヲ特撰ス

第二十五條 専科生ノ學用品ハ自辨トス但授業ニ要スル書籍及器械等ハ其ノ種類ニ依リ貸與スルコトアルヘシ

第二十六條 海軍機關學校ニ機關工練習所ヲ附屬セシム

第二十七條 機關工練習所ハ掌機工及掌罐工ト爲ルヘキ機關手及火夫ヲ教育スル所トス

第二十八條 機關工練習所ニ左ノ職員ヲ置ク



長 海軍機關少監 一人

教官 海軍大機關士 三人

部長 海軍大機關士 三人教官ヲ以テ兼補ス

第二十九條 機關工練習所長ハ校長ノ命ヲ承ケ所内一切ノ事務ヲ管理シ紀律ヲ維持シ及教育ノ責ニ任ス

第三十條 機關工練習所教官ハ所長ノ命ヲ承ケ各學科ノ教授ヲ擔任ス

第三十一條 部長ハ所長ノ命ヲ承ケ部員ノ紀律ヲ維持シ其ノ行狀技倆ヲ熟知シ且部員ニ係ル事務ヲ掌理ス

第三十二條 第二十八條ニ掲クル職員ノ外機關工練習所ニ左ノ諸員ヲ置キ上官ノ命ヲ承ケ服務セシム

海軍機關師 教員 二人

海軍下士 六人内三人教員

海軍卒 九人

第三十三條 機關工練習所ニ於テ教育スル海軍機關手及火夫ハ機關工練習生ト稱ス

第三十四條 機關工練習生ト爲ルヘキ者ハ海軍機關手及三等火夫以上ニシテ左ノ諸

項ニ適合スル者タルヘシ

一 年齢三十五年未満ニシテ身體強健ナル者

二 一箇年以上海上勤務ニ服シタル者但四等火夫ヨリ起算ス

三 品行方正ニシテ技能アリ掌機工若クハ掌罐工タルニ堪フヘキ者

四 卒業後七箇年間現役ニ服スヘキ者

五 試験ニ合格シタル者

第三十五條 機關工練習生卒業シタルトキハ掌機工證狀若クハ掌罐工證狀ヲ授與ス其ノ證狀ハ試験ノ成績ニ依リ各二等ニ分ツ

前項ノ證狀ヲ得タル者ハ掌機工又ハ掌罐工ト稱ス

第三十六條 掌機工及掌罐工ニハ臂章ヲ附與シ且加俸ヲ給ス

第三十七條 海軍機關學校ニ技手練習所ヲ附屬セシム



第三十八條 技手練習所ハ造船造機及造兵ノ技手出身志願者ヲ生徒ト爲シ之ヲ教育スル所トス

第三十九條 技手練習所ニ左ノ職員ヲ置ク

長 海軍少技監若クハ海軍大技士 一人

教官 海軍少技監若クハ海軍大技士 一人所長ヨリ兼務ス  
海軍大技士若クハ海軍少技士 二人

前項定員ノ外本職アル者ヲ以テ教官ニ兼補スルコトヲ得

第四十條 技手練習所長ハ校長ノ命ヲ承ケ所内一切ノ事務ヲ管理シ紀律ヲ維持シ及教育ノ責ニ任ス

第四十一條 技手練習所教官ハ所長ノ命ヲ承ケ各學科ノ教授ヲ擔任ス

第四十二條 第三十九條ニ掲クル職員ノ外技手練習所ニ教員トシテ技手二人ヲ置ク

第四十三條 技手生徒ト爲ルヘキ者ハ左ノ諸項ニ適合スル者タルヘシ

- 一 年齢滿二十一年以上三十年未滿ノ者
- 二 品行方正ニシテ將來技手タルニ堪フヘキ見込アル者

三 海軍部内造船、造機及造兵ニ關スル工場ニ於テ三百日以上現業ニ服シタル者

四 身體檢査及學術試驗ニ合格シタル者

五 卒業後滿十箇年間海軍ニ從事スヘキ者

第四十四條 左ノ諸項ノ一ニ該ル者ハ技手生徒ニ採用セス

一 徵兵令第二十八條ニ該ル者

二 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者及賭博犯ノ處分ヲ受ケタル者

三 復權ヲ得サル家資分散者破産者及身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者若クハ其ノ相續人

第四十五條 技手生徒ニシテ卒業證書ヲ有スル者ハ海軍技手トナルヘキ資格アルモノトス

第四十六條 技手生徒ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ス

第四十七條 第十七條第三十二條及第四十二條ニ掲クル職員ハ海軍機關學校及兩練



習所ニ通シテ勤務セシムルコトヲ得

附則

第四十八條 本令ハ明治二十六年十二月二十日ヨリ施行ス

第四十九條 明治二十三年勅令第二百五十三號海軍機關學校條例ハ本令施行ノ日ヨリ廢止シ該校練習生ハ此ノ際志願ニ依リ直ニ機關工練習生ニ採用ス

第五十條 海軍造船工學校官制ハ本令施行ノ日ヨリ廢止シ該校生徒ハ技手生徒トス

海軍省達第四百十九號 (明治二十六年十二月二十日)

海軍機關學校規則

第一條 校長ハ教育上ニ關シ詮議ヲ要スルコトアルトキハ教頭教官中ヨリ指名會同シ會議ヲ開キ之ヲ審議決定ス可シ

第二條 校長ハ海軍機關學校條例第二十三條ニ該當スト認ムル者アルトキハ會議ヲ開キ審議ノ上海軍大臣ニ具申スヘシ

第三條 校長ハ每學期及全學期ノ終ニ於テ會議ヲ開キ生徒ノ學術品行等ノ實況ヲ審議シ其優劣ヲ議決シ成績表ヲ調製ス可シ

第四條 校長ハ專科生採用ノ達アリタルトキハ會議ヲ開キ審議ノ上生徒卒業者中ヨリ須要ニ應シ適任者ヲ指名シ意見ヲ附シ海軍大臣ニ進達ス可シ

第五條 校長ハ大試驗終末大試驗及卒業試驗ノ成績表ニ意見ヲ附シ教頭ノ意見書ヲ添ヘ海軍大臣ニ進達ス可シ

第六條 校長ハ每學期ノ終ニ於テ教育報告ヲ海軍大臣ニ進達ス可シ

第七條 校長ハ終末大試驗ニ及第シタル者ニ海軍大臣ノ認可ヲ得實地練習トシテ軍艦乗組ヲ命ス但軍艦ハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依ル

第八條 校長ハ卒業證書授與式ヲ舉行セントスルトキハ海軍大臣ノ認可ヲ受ク可シ  
第九條 校長ハ監事軍醫官主計官若干名ヲ被服糧食委員トナシ生徒ノ被服糧食ニ關スル事ヲ掌ラシムルコトヲ得

第十條 校長ハ夏季冬季休業中生徒ニ外宿ヲ許スコトヲ得



- 第十一條 校長ハ海軍大臣ノ認可ヲ得テ毎年十一月生徒ニ入校ヲ命ス
- 第十二條 副官ハ庶務及官印ノ監守ヲ掌ル
- 第十三條 教頭ハ教務ヲ整理シ學術及教授上ノ得失ヲ考察シ意見アルトキハ之ヲ校長ニ具申ス可シ
- 第十四條 教頭ハ試験成績ニ意見ヲ附シ校長ニ差出ス可シ
- 第十五條 教官ハ學術上若クハ教授上ニ關シ意見アルトキハ教頭ニ開申ス可シ
- 第十六條 教官ハ試験ヲ行ヒタルトキハ試験成績ニ意見ヲ附シ教頭ニ出ス可シ
- 第十七條 監事長ハ生徒ノ容儀品行ヲ監督シ體育上ノ得失ヲ考察シ意見アルトキハ校長ニ具申ス可シ
- 第十八條 監事長ハ生徒ニ犯則者アルトキハ之ヲ取調ヘ意見ヲ附シ校長ニ具申ス可シ
- 第十九條 監事長ハ每學期ノ終ニ於テ生徒ノ考科表ヲ校長ニ差出ス可シ
- 第二十條 監事長ハ准士官以下ノ勤怠ヲ監督シ犯則者アルトキハ之ヲ取調ヘ校長ニ具申ス可シ

具申ス可シ

- 第二十一條 監事長ハ下士以下ノ身上ニ關スル一切ノ事ヲ擔任ス
- 第二十二條 監事ハ生徒分隊ノ長トナリ隊員ノ身上ニ關スル一切ノ事ヲ監視シ志操ヲ養成スルヲ任トス
- 第二十三條 監事ハ交番宿直ノ勤務ニ服ス
- 第二十四條 監事ハ每學期ノ終ニ於テ隊員ノ考科表ヲ監事長ニ出ス可シ
- 第二十五條 監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ其事務ヲ分擔ス
- 第二十六條 生徒ハ分隊ニ編制ス
- 第二十七條 生徒ノ學期ハ四期トシ其第四期後半期ハ軍艦ニ於テ實地練習セシム
- 學期ハ毎年一月十日ニ始マリ翌年一月九日ニ終ル
- 第二十八條 毎年七月二十一日ヨリ九月十日迄ヲ夏季休業トシ十二月二十一日ヨリ翌年一月九日迄ヲ冬季休業トス
- 第二十九條 生徒ノ召募及檢査格例ハ毎年二月之ヲ告示ス



第三十條 生徒ノ試験ハ分チテ左ノ四種トス

一 小試験

二 大試験

三 終末大試験

四 卒業試験

第三十一條 試験ノ及第點ハ各科全點數十分ノ五以上トス

第三十二條 大試験若クハ終末大試験ニ及第シタル者ニハ及第證書ヲ授與シ學術優等ノ者ニハ本則第六十一條第一圖ノ賞牌ヲ與フ

大試験若クハ終末大試験ニ及第シタル者ニシテ品行殊ニ善良衆人ノ模範トナルヘキ者ニハ本則第六十一條第二圖ノ賞牌ヲ與フ

第三十三條 前條第一項ノ賞牌ヲ有スル者ニシテ大試験又ハ終末大試験ニ落第スルカ若クハ第二項ノ賞牌ヲ有スル者本校生徒懲戒則又ハ海軍懲罰令ニ觸ル、コトアルトキハ之ヲ剝奪ス

第三十四條 卒業試験ニ及第シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第三十五條 大試験、終末大試験及卒業試験ノ成績表ニハ各學科ノ得點及席次ヲ掲載シ且品行點ヲ記入スルモノトス但品行點ハ席次ニ關係スルコトナシ

第三十六條 小試験ハ一學期ヲ適宜三回以上ニ分チ執行スルモノトス

第三十七條 一學期間ノ小試験得點ハ之ヲ其ノ期大試験若クハ終末大試験ノ得點ニ合算ス

大試験ノ全點ハ其ノ期各小試験ヲ通シタル合全點ト同數タル可シ

第三十八條 病氣其ノ他已ムヲ得サル事故アリ小試験ニ缺席スル者ハ別ニ試験ヲ行ハス而シテ大試験若クハ終末大試験成績ニ加フルニハ大試験若クハ終末大試験中ニアル該科目ノ得點ヲ一學期間ノ小試験回数ニテ除シタルモノヲ以テス

第三十九條 大試験ハ第一期第二期及第三期ノ終ニ於テ行フモノトス

第四十條 大試験ニハ一學期中ニ教授シタル學科ヲ試験ス

第四十一條 大試験成績表ニ掲クル點數ハ大試験得點ト該一學期間小試験ノ得點ト



ヲ合セ二分シタルモノトス

第四十二條 終末大試験ハ第四期前半期ノ終ニ於テ行フモノトス

第四十三條 終末大試験ニハ前三期及第四期前半期間ニ教授シタル學科ヲ試験ス

第四十四條 終末大試験成績表ニ掲クル點數ハ前三期ノ大試験成績點數ニ第四期前半期ノ小試験得點ト終末大試験得點トヲ加ヘ二分シタルモノトス但終末大試験全點ハ前三期大試験合全點ニ第四期前半期小試験ノ合全點ヲ加ヘタルモノト同數タル可シ

第四十五條 卒業試験ハ全學期ノ終ニ本校ニ於テ行フモノトス

第四十六條 卒業試験ニハ軍艦ニ於テ教授シタル學科ヲ試験ス

第四十七條 卒業試験官ハ本校教官中ヨリ校長之ヲ命ス但試験問題ハ校長艦長ト協議ノ上定ムルモノトス

第四十八條 卒業試験成績表ニ掲クル點數ハ卒業試験得點ト終末大試験ノ成績點數トヲ加ヘタルモノトス但卒業試験ノ全點ハ第四期前半期小試験合全點ト同數タル

可シ

第四十九條 大試験若クハ終末大試験ニ落第シタルモ前試験ノ成績ヲ考査シ卒業ノ

目途アル者ニハ一學期ヲ延期修學セシム卒業試験ニ落第シタル者ニハ再試験ヲ行フモノトス

傷痕ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ大試験又ハ終末大試験若クハ卒業試験ヲ受クルコト能ハサル者ハ前二項ニ準ス

前諸項ノ場合ニ於テハ之ヲ海軍大臣ニ報告ス可シ

第五十條 前條ノ延期ハ一學期ニ止ルト雖モ傷痕ヲ受ケタル者又ハ自身ノ不攝生ニ依ラサル疾病ニ罹ル者ニシテ學術品行殊ニ優等ナル者ハ特別ノ詮議ニ附スルコトヲ得

第五十一條 定期ノ課程ヲ終リタル者大試験又ハ終末大試験若クハ卒業試験ニ際シ傷痕ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ試験ヲ受クルコト能ハサルトキハ臨時試験ヲ行フコトヲ得



第五十二條 專科生ノ學期ハ二期トシ各學期ノ後半期ハ各專科生專門ノ工場ニ於テ實習セシム

第五十三條 專科生ノ試験ハ左ノ二種トス

一 夏季試験

二 卒業試験

第五十四條 試験ノ及第點ハ各科全點數十分ノ五以上トス

第五十五條 夏季試験ハ毎年七月ニ於テ行フモノトス

第五十六條 卒業試験ハ全教程ノ終ニ於テ行フモノトス

第五十七條 卒業試験成績表ニ掲クル點數ハ卒業試験得點ニ夏季試験ノ得點ヲ加ヘタルモノトス

第五十八條 卒業試験ニ及第シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第五十九條 夏季試験若クハ卒業試験ニ落第シタル者ニハ尙一學期間延期修學セシムルコトヲ得

第六十條 本校ニ教授用トシテ船艇ヲ附屬スルコトヲ得

第六十一條 第三十二條ニ掲クル賞牌ノ製式ハ左圖ノ如シ但賞牌ハ常衣右乳部下

方ニ附著スルモノトス (圖畧ス)

勅令第六十八號 (明治二十二年五月二十一日)

海軍志願兵徵募規則

第一條 海軍兵役ヲ志願スル者ハ本則ニ依リ服役セシム

第二條 志願兵ノ職名ハ左ノ如シ

水兵、信號兵、軍樂生、水雷夫、火夫、工夫、木工、鍛冶、看病夫、厨夫

第三條 志願兵ニ徵募スルトキノ年齢定限ハ左ノ如シ

一 水兵、信號兵、火夫ハ滿十七年以上二十一年未滿

二 木工、鍛冶、看病夫、厨夫ハ滿十七年以上二十六年未滿

三 水雷夫、工夫ハ滿十七年以上三十二年未滿

海軍機關學校規則第六十條第六十一條海軍志願兵徵募規則自第一條至第三條 三一五

廿三年十月廿九號  
勅令第二百九十四號  
看



四 軍樂生ハ滿十四年以上十七年未滿

第四條 左ニ掲クル者ハ志願兵タルコトヲ許サス

一 陸軍ノ豫備役後備役ニ在ル者

二 徵兵令第二十八條ニ當ル者

三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレ若クハ賭博犯ニ由リ懲罰ニ處セラレタル者

四 刑事被告人トナリ裁判未決ノ者

五 身代限リノ處分ヲ受ケ負債ノ義務ヲ免レサル者

第五條 志願兵ノ服役ヲ分テ現役及豫備役トス現役ハ八ケ年ニシテ入營ノ日ヨリ之

ニ服シ豫備役ハ四ケ年ニシテ現役ヲ終リタル日ヨリ之ニ服ス水雷夫ハ前項ニ依ラ

ス十二箇年間現役ニ服セシメ豫備役ニ服セシメス但第一年ニ於テハ六箇月以內第

二年ヨリ十一箇年間ハ毎年二箇月以內在營セシメ其餘ノ時日ハ歸休セシム

第六條 服役中禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ監視ニ付セラレ又ハ逃亡若クハ失踪シタル

者其刑期中及逃亡失踪中ノ日數ハ服役年期ニ算入セス

廿七年十  
二月勅令  
第二百一  
號參看

第七條 服役期限既ニ滿ルト雖モ戰時或ハ事變ニ際スルトキ若クハ臨時ニ演習ノ舉

アルトキ若クハ航海中ハ其期限ヲ延スコトアル可シ

第八條 豫備兵ハ戰時或ハ事變ニ際シ兵員ヲ要スルトキ之ヲ召集ス平時ニ在テハ演

習ノ爲メ召集スルコトアルヘシ但餘人ヲ以テ代フ可ラサル職務ヲ奉スル官吏及市

町村長助役及收入役ハ召集スルコトナシ

法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員其開會中亦同シ

第九條 服役中ハ免役ヲ願フコトヲ許サス但現役中疾病若クハ傷痕ニ依リ現役ニ堪

ヘ難キ者ハ其役ヲ免シ現役ヲ通シテ滿十二箇年ニ至ル迄豫備役ニ服セシム其永久

服役ニ堪ヘ難キ者ハ兵役ヲ免ス

第十條 水雷夫、工夫ヲ除クノ外志願兵ノ現役中ハ家族アル者ニ限リ其扶助金トシ

テ一日金貳錢七厘ヲ給ス

第十一條 志願兵徵募ノ爲メ別表ノ如ク志願兵徵募區ヲ定メ鎮守府ヲシテ之ヲ管セ

シム



第十二條 志願兵徵募ノ人員ハ毎年海軍大臣之ヲ定メ各徵募區ニ配當シ鎮守府ヲシテ徵募セシム

附則

第十三條 舊規則ニ據リ徵募シタル者ノ服役年期ハ舊規則ニ據ル

第十四條 舊規則ニ據リ一箇月金壹圓七拾五錢ノ家族扶助金ヲ給スル者ニハ本年十月以後其現役滿期迄一日金五錢七厘ノ家族扶助金ヲ給ス

(別表)

海軍志願兵徵募區	所管鎮守府	府	縣	名
第一	橫須賀鎮守府	秋田	宮城 福嶋 巖手 青森 山形	北海道 東京 神奈川 新潟 埼玉 群馬 千葉 茨城 栃木 三重 愛知 靜岡 山梨 岐阜 長野
第二	吳鎮守府	京都 大阪 兵庫 奈良 滋賀	福井 石川 富山 鳥取 島根 岡山 廣島 山口 和歌山 徳島	香川 愛媛 高知
第三	佐世保鎮守府	長崎 福岡 鹿兒島	大分 佐賀 熊本	

海軍省令第五號 (明治二十二年六月二十日)

海軍志願兵徵募細則

第一條 海軍志願兵ヲ志願スル者ハ本則ニ依リ徵募ス但軍樂生ハ橫須賀鎮守府ニ於テ徵募シ水雷夫ハ別ニ定ムル規則ニ依リ徵募ス

第二條 志願兵徵募ノ數額ハ毎年四月ニ於テ告示ス

第三條 前條ノ告示アリタルトキ地方長官ハ其年海軍志願兵徵募規則第三條ノ年齢ニ適スル者ヲシテ出願セシメ島司郡市長ヲシテ之ヲ調査セシメ島郡市及兵種ヲ區

海軍志願兵徵募細則自第一條至第三條

廿三年八月省令第八十三號  
 廿六年一月全第一號  
 廿三年二月全第二號  
 廿四年一月全第一號  
 號參看



別シ志願人員表ヲ作り六月十日迄ニ之ヲ海軍志願兵徵募區ヲ管スル鎮守府司令長官ニ移牒ス可シ

鎮守府司令長官ハ地方長官ヨリ志願人員表ヲ受ケタルハ其寫ヲ海軍省ニ送付スヘシ島司郡市長ハ志願人ヲ調査スルニ當リ海軍志願兵徵募規則第四條ニ觸ル者ナキヤ否ヤヲ審査ス可シ

第四條

第五條 鎮守府司令長官ハ七月一日後左ノ諸官ヲ派出シ志願人ヲ検査セシム

海兵團徵募官

軍醫官

徵募官ニハ主帳ヲ付シ軍醫ニハ看護手ヲ付ス

第六條 地方長官ハ徵募官ノ巡回ニ先ダテ海軍兵役志願人検査所ヲ設ケ島司郡市長ニ達シ検査ノ準備ヲ爲サシム可シ

第七條 地方長官島司郡市長ハ徵募官ノ巡回ニ際シ属書記ヲ派出シ徵募ノ事務ヲ補

削除

助セシム可シ

第八條 海軍兵役志願人検査所ハ一地方廳管轄地ノ廣狹及志願人ノ多少ニ依リ検査ニ便ナル場所ヲ撰ミ概テ一郡市ニ一箇所ヲ設ク可シ

志願人十名ニ滿タサル郡市及一地方管轄地ヲ通シ十名ニ滿タサル地方ニ在テハ検査所ヲ設ケス便宜ノ検査所ニ集メ検査ヲ施行ス但地形ニ依リ召集ニ便ナラサルトキハ鎮守府司令長官ノ許可ニ依リ特ニ検査所ヲ設クルコトヲ得

第九條 徵募官ハ地方長官ニ協議シ検査所巡回日割及毎日検査ヲ行フ可キ人員ヲ定メ島司郡市長ニ通知シ島司郡市長ハ検査ノ日時及集合スヘキ検査所ヲ豫メ志願人ニ達ス可シ

第十條 島司郡市長ハ徵募官ノ巡回日割ニ依リ志願人ノ検査ヲ受クヘキ日限及順序ヲ定メ志願人ニ告知シ其當日ニ至レハ市町村吏員ヲシテ志願人ヲ引纏メ検査所ニ出頭セシム可シ

検査呼出ニ際シ疾病又ハ事故ニ依リ出頭シ難キ者アルモ之レカ爲ニ日時ヲ遷延シ



更ニ検査所ヲ開クコトナシ但甲志願人乙地検査所ニ至リ検査ヲ願フ者ハ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第十一條 徵募官軍醫官ハ検査所ニ於テ志願人ノ身體ヲ検査シ合格不合格ヲ定ム可シ

第十二條 志願人身幹左ノ定尺ニ達シ身體完全強健精神異狀ナキ者ヲ身体検査合格トシ否ラサル者ヲ不合格トス

一 水兵、火夫、看病夫志願者ニ在テハ五尺二寸

二 軍樂生志願者ハ齒列齋正ニシテ十五年以上ニ在テハ五尺十五年未滿ニ在テハ四尺八寸

三 木工、鍛冶、厨夫志願者ニ在テハ五尺

四 信號兵志願者ニ在テハ齒列齋正ニシテ五尺二寸

第十三條 志願人ノ身體検査合格者ヲ甲乙ノ二種ニ分テ先ツ甲種合格者ヲ採用シ次ニ乙種合格者ニ及ホスモノトス

第十四條 木工、鍛冶ニ志願ノ者ハ一箇年以上該職業ニ服セシ者ニ限り採用ス其證明書ハ市町村長ヨリ巡廻ノ徵募官ニ出ス可シ

第十五條 信號兵、軍樂生、看病夫、厨夫志願ノ者ハ身體検査ニ合格スト雖モ讀書作文算術ノ試験ニ合格セサレハ採用セス讀書ハ平易ナル假名交リ文作文ハ通俗文算術ハ四則ヲ解シ得ルヲ以テ程度トス

第十六條 身體ノ検査及讀書作文算術ノ試験ニ合格スト雖モ他ノ原因ニ依リ徵募官ニ於テ海軍兵ニ適セサル者ト認ムルトキハ採用セサルコトアル可シ

第十七條 検査合格ノ者ニハ一地方ノ検査ヲ了リタル後徵募官ヨリ島司郡市長ヲ經テ合格證書ヲ附與ス

合格證書ヲ附與セラレタル者採用以前ニ在テ轉籍、死亡、逃亡、公權停止、廢疾不具等身上ニ異動ヲ生シタル者アルトキハ島司郡市長ハ地方廳ヲ經由シ速ニ其人名及異動ノ事項、轉籍者ハ其轉籍地ヲ詳記スヘシヲ當該鎮守府海兵團長ニ通知スヘシ但轉籍者ニ在テハ同時ニ其旨ヲ轉籍地ノ島司郡市長ニ通知スヘシ



鎮守府海兵團長他鎮守府徵募區ニ轉籍セシ者ノ通知ヲ受ケタルトキハ徵募官ヲシテ其兵種及檢査成績ヲ轉籍地ノ海兵團徵募官ニ通知セシムヘシ

第十八條 徵募官ハ徵募區内各府縣志願人ノ檢査ヲ了ルトキハ前條ノ異動人員ヲ加除シ志願兵檢査總人員表ヲ作り海兵團長ヲ經由シ鎮守府司令長官ニ進達スヘシ

第十九條 鎮守府司令長官ハ合格者ノ數ヲ率トシ比例ヲ以テ採用スヘキ人員ヲ各地方ニ配當シ海兵團長ヲシテ採用證書ヲ地方長官ニ送付シ且入營期日ヲ通知セシムヘシ

鎮守府司令長官ハ前項ノ配當人員表ヲ作り第十八條ノ志願兵檢査總人員表ト共ニ海軍省ニ送付スヘシ

第二十條 地方長官採用證書ノ送付ヲ受ケタルトキハ島司郡市長ヲシテ之ヲ各自ニ附與シ誓約書ヲ出サシムヘシ

第二十一條 地方長官前條ノ手續ヲ了リタルトキハ徵募兵員ヲ便宜ノ場所ニ集メ屬官又ハ市町村吏員ヲ附シ入營地ニ至ル期日ヲ計リ出發セシムヘシ但五人未滿ナル

トキハ單行セシムルモノトス

第二十二條 兵員入營ニ際シ疾病又ハ事故ニ依リ入營ノ延期ヲ願フ者アルトキハ海兵團長ニ於テ二十日以内ノ延期ヲ許ス可シ

第二十二條乙 兵員入營スルトキハ直ニ身體檢査ヲ施行ス此檢査ニ於テ到底海軍兵役ニ堪ヘ難キ者アルトキハ之レカ採用ヲ取消シ旅費ヲ給シテ歸郷セシメ海兵團長ヨリ採用取消書ヲ地方長官ニ送付シ之ト同時ニ本人ノ戶籍明細書及誓約書ヲ市町村長ニ返付スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ更ニ補欠員ヲ同府縣内同兵種ノ合格者ヨリ徵募スルモノトス但同府縣内ニ於テ徵募スルコト能ハサルトキハ同鎮守府徵募區内ヨリ補フコトヲ得

補缺徵募兵員ノ採用証書送付方及入營期日ノ通知其他ノ手續ハ一般ノ徵募兵員ニ準ス

第二十三條 地方長官ハ市町村長ヲシテ採用セラレタル者ノ戶籍明細書ヲ作ラシメ

廿七年七月省令第九號參看







第二樣式 合格證書 (用紙厚紙)

寸五尺曲

第何海軍志願兵徵募區  
府(縣)郡(市)町(村)住  
氏  
右檢査合格ニ付此證書ヲ附與ス  
明治 年 月 日  
何鎮守府海兵團徵募官 氏  
海軍軍醫官 氏  
名 印

第三樣式 採用證書 (用紙厚紙)

曲尺七寸

寸五尺曲

第何海軍志願兵徵募區  
府(縣)郡(市)町(村)住  
氏  
右海軍水兵 又 何々ニ徵募ス  
明治 年 月 日  
何鎮守府海兵團  
名 印

曲尺七寸

第四樣式 (用紙美濃紙四ツ切)

誓約書

海軍志願兵ニ御採用ニ付テハ御規則ヲ嚴守シ誓テ海軍ニ從事可仕候也

明治 年 月 日

氏 名 印

第五樣式 戶籍明細書 (用紙美濃紙)

本管族籍	住 所	戶主 カ	子 カ	家族ノ名	其生年月日	氏 名	生 生年月日 國	家族ノ名	其生年月日
------	-----	---------	--------	------	-------	-----	----------------	------	-------



右之通相違無之候也		明治 年 月 日		市町村長 氏 名 印	
本管族籍	住 所	氏 名	海 軍		
戶主 子カ 弟カ		生 生年月日 國			
家族ノ名	其 生 年 月 日	家族ノ名	其 生 年 月 日		

寸五尺曲

海軍志願兵徵募細則第六様式

右採用ヲ取消ス

第六様式 採用取消書 (用紙厚紙)

右之通相違無之候也  
 明治 年 月 日  
 市町村長 氏 名 印

第何海軍志願兵徵募區  
 府(縣)郡(市)町(村)住  
 氏 名



明治 年 月 日

何 鎮 守 府 海 兵 團

曲尺七寸

海軍省令第三號 (明治二十二年六月十二日)

海軍志願兵家族扶助金支給規則

- 第一條 家族扶助金ハ志願兵ノ家族(附籍ハ除ク)アル者ニ限り入營ノ日ヨリ現役ヲ離レタル日迄支給ス
  - 第二條 一日金五錢七厘ヲ給スル者ニ再役ヲ許シタルトキハ再服役ノ日ヨリ一日金貳錢七厘ヲ支給ス
  - 第三條 家族扶助金ハ毎月末日「十二月ハ本人所轄廳(所轄廳トハ艦船團其他下士卒ヲ直轄スル廳ヲ云フ以下之ニ同シ)ニ於テ支給シ其日休暇ニ當ルトキハ前日ニ操上ケ支給ス可シ
- 但服役場所ニ異動アルモ本文ニ同シ

二十三年  
二月省令  
第三號參  
看

第四條 准士官ニ昇級シタルトキハ辭令書拜受ノ日マテ免官免役セラレ死亡シ若クハ現役ヲ退キタルトキハ其當日マテ前條ノ支給定日ニ拘ハラズ其際支給ス可シ

第五條 單身ノ下士卒家族ヲ有シタルトキハ其報告本人所在ノ廳ニ到達ノ日ヨリ家族扶助金ヲ支給ス

家族アル下士卒單身ト爲リタルトキハ其報告本人所在ノ廳ニ到達ノ日迄支給ス

第六條 海軍部内ニ於テ會計ヲ異ニスル廳ヨリ借用シタル者ノ家族扶助金ハ本廳發程ノ翌日ヨリ歸廳ノ當日迄借用應ニ於テ支給ス可シ

海軍部外ノ各廳へ貸與シタル者ニハ發程ノ翌日ヨリ歸廳ノ當日迄支給セス

奏樂ノ爲メ一時貸與スル軍樂員ハ前二項ノ限ニアラス

第七條 家族扶助金ハ處刑罰收禁拘留若クハ遞傳護送中ノ者又ハ擅ニ艦船團若クハ職役ヲ離レタル者ニハ其當日ヨリ歸廳ノ當日迄之ヲ支給セス但無罪免訴若クハ無罪トナリタルトキハ之ヲ追給スヘシ

第八條 事故アリ追給若クハ追徴スヘキ者アルトキハ翌月以降ニ於テ支給若クハ控

海軍志願兵家族扶助金支給規則自第四條至第八條



二十三年  
四月省令  
第七號ヲ  
以刪除ス

除スルコトヲ得但會計ヲ異ニスル應ニ涉ル追徴追給ハ各其廳ニ於テ追徴追給スヘキモノトス

第九條第十條

第十一條 死亡者若クハ逃亡者ニ支給スヘキ金額アルトキハ其家族ノ請求ニ據リ之ヲ下付スヘシ

第十二條 家族扶助金ヲ受クル者家族ニ異動アルトキ若クハ轉居轉籍シタルトキハ家族又ハ親族ヨリ地方廳ニ届出テ各地方廳ハ其都度其者在籍ノ鎮守府海兵團ニ報告ス可シ單身ノ下士卒家族ヲ有シタルトキ亦同シ

第十三條 海兵團ニ於テ前條ノ報告ヲ得タルトキハ直ニ本人所在ノ廳ニ轉送ス可シ

附則

第十四條 本年五月三十一日迄ハ従前ノ例規ニ據リ横須賀鎮守府ニ於テ取扱フ可シ

第十五條 舊規則ニ據リ一箇年金拾圓ノ家族扶助金ヲ給スル者ニハ本年六月一日ヨリ志願兵徵募規則ニ據リ一日金貳錢七厘ヲ支給ス

第十六條 舊規則ニ據リ一箇月金壹圓七拾五錢ノ家族扶助金ヲ給スル者ニハ本年六月一日ヨリ九月三十日迄日割計算ヲ以テ志願兵徵募規則ニ據リ支給スルモノトス  
第十七條 前條ノ家族扶助金ヲ給スル者ニハ本年十月一日ヨリ志願兵徵募規則ニ據リ一日金五錢七厘ヲ支給ス

海軍省達第六十八號 (明治二十七年五月一日)

(別紙)

第一書式 服役停年ニ基ク退職及免除恩給請求書 (用紙美濃紙)  
但ニ通差出スヘシ(以下孰レモ一通ヲ差出スヘシ)

恩給請求書

某 儀

何年何月何日(被任何官)(何々被申付)爾來何箇年服役何年何月何日  
何々ニ依リ(豫備)(後備)(退役)(免官)(免役)被仰付候ニ就テハ軍人  
恩給法第何條相當ノ恩給下賜度證據書類相添此段請求仕候也

元(軍艦何々)(某團何々)(休職)  
(停職)

海軍志願兵家族扶助金支給規則第十六條第十七條海軍省達第六十八號第一書式 三三五



何府何市區何町何番地華族(平民)  
 何縣何郡何市區何町何番地寄留  
 年月日  
 海軍大臣爵氏名殿  
 卒ハ舊所管長官ニ宛ツヘシ(以下之ニ同シ)  
 職位勳爵 氏 名印

附屬スヘキ證據書類

履歷書 (第八書式)

第二書式 傷痍疾病ニ基ク恩給請求書 (用紙美濃紙)

恩給請求書

某 儀

何年何月何日(被任何官)(何々被申付)爾來何箇年服役何年何月何日  
 (傷痍(疾病)ノ故ヲ以テ(退役)(免官)(免役)被仰付候ニ就テハ軍人  
 恩給法第何條ニ據リ恩給下賜證據書類相添此段請求仕候也  
 肩書第一書式ニ同シ

年月日

海軍大臣爵氏名殿

職位勳爵 氏 名印

附屬スヘキ證據書類

履歷書 (第八書式)

現認證書 (第五書式若クハ公文ノ寫若クハ口供書)

負傷證書 (第六書式)

診斷證書 (第七書式)

但公務ニ因ラサル傷痍疾病ニ係ルモノハ履歷書並診斷證書ノミ添付スヘ  
 シ

第三書式 傷痍疾病重症ニ趣キ恩給ノ増加ヲ請  
 求シ若クハ其恩給ヲ更ニ請求ノトキ (用紙美濃紙)

恩給請求書

某 儀



何年何月何日ヨリ(傷瘻)(疾病)ノ故ヲ以テ(恩給及負傷増加恩給下賜)(現役ヲ離レ)候處爾來何々ニ依リ遂ニ重症ニ赴キ別紙診斷書ノ通ニ候間御檢査ノ上軍人恩給法第何條ニ據リ恩給下賜度證據書類相添此段請求仕候也

肩書第一書式ニ同シ

年月日

官位勳爵

氏

名印

海軍大臣爵氏名殿

附属スヘキ證據書類

病況書 原因經過療法ヲ詳記シタルモノ

診斷證書 (第七書式) 海軍軍醫官ノ診斷證書若シ軍醫官ノ診斷ヲ受クルコト能ハサル場合ニ限リ地方醫師二名連署捺印シタルモノ

更ニ恩給ヲ請求スルモノハ

履歷書 (第八書式)

現認證書 (第五書式若クハ公文ノ寫若クハ口供書)

負傷證書 (第六書式)

病況書 (同右)

診斷證書 (同右)

第四書式 (用紙美濃紙)

給助金請求書

某 儀

何年何月何日被任何官爾來何箇年勤績何年何月何日現役ヲ離レ候ニ就テハ軍人恩給法第何條相當ノ給助金下賜度證據書類相添此段請求仕候也

肩書第一書式ニ同シ

年月日

官位勳爵

氏

名印

海軍大臣爵氏名殿

附属スヘキ證據書類

履歷書 (第八書式)

遺族ヨリ請求ノトキ

給助金請求書

故官位勳爵

氏

名



右現役中何年何月何日死去仕候ニ就テハ軍人恩給法第何條ニ據リ給助金下賜度證據書類相添此段請求仕候也

肩書第一書式ニ同シ

故官位勳爵氏名遺族

年月日

氏名印

海軍大臣爵氏名殿

附屬スヘキ證據書類

履歷書 (第八書式)

備考 死者ニ對スル給助金ハ遺產相續人ニ賜ルヘキモノニ付嗣子又ハ戶主ヨリ請求スヘシ

第五書式

(用紙美濃十三行野紙)

現認證書

所轄

官職 氏名

右者明治何年何月何日何時何分何所ニ於テ俱ニ砲撃ノ際(何々演習ノ際何々ニ由リ何々ニ觸レ)何々ニ由リ何物ノ爲メニ(何部ニ何傷ヲ

受シルヲ現認ス

所轄

官職 氏名印

官職 氏名印

罹病ニ係ル現認證書ノ書式ハ本證書ニ準ス

備考 本證書ハ勉メテ現況ヲ詳記スヘシ又現認者一名ノ場合ニ在テハ一名ニ之ヲ作ルヘシ

第六書式

(用紙美濃十三行野紙)

負傷證書

所轄官職 氏名 年齢

右者明治何年何月何日何時何分何所ニ於テ何ノ際何ノ爲メニ何ノ部ニ何ノ傷ヲ負ヒタルニ由リ診査スルニ何ノ部ニ於テ大サ幾許(何部ヨリ何部ニ亘ル長幾許幅幾許)深サ幾許ノ(何部ニ達スル)何創アリ創縁ハ銳利ニシテ(不正ニ挫斷シテ)創面ヨリ著シク出血シ(微ニ出血シ)創底ニ於テ何大ノ骨片折斷シテ移動スルヲ認ム(骨膜ハ僅ニ剝



離スレトモ骨折ヲ認メス或ハ何器官ニ損傷ヲ認メス(因テ止血法ヲ施シ(何動脈ヲ結紮シ)骨片ヲ拔除シ創面ヲ洗除シ創縁ヲ縫接シテ防腐綱帶ヲ施ス  
右證明ス

明治 年 月 日 職官(軍醫官) 氏 名 印  
罹病證書ノ書式ハ本證書ニ準ス

第七書式

(用紙美濃十三行罫紙)

診斷證書

所轄官 氏名 年齢

右者明治何年何月何日何所ニ於テ何ノ際何ノ爲ニ何ノ部ニ何ノ傷痕ヲ負ヒ何年何月何日ヨリ施療(何病院ニ入院施療)ノ處何年何月何日何ノ手術ヲ行ヒ何年何月何日傷痕治癒スト雖モ何ノ部位ヲ失ヒ(何部ノ知覺若クハ運動麻痺ヲ胎シ何ノ機能缺如シ若クハ幾許碍ケラレ或ハ周圍ノ瘰癧若クハ關節面ノ癒着若クハ何ニ由リ何關節ニ強直若クハ攣縮ヲ胎シ全ク伸縮機能ヲ缺キ若クハ伸展及屈曲ノ角度幾許ニ

過キス或ハ視力餘り缺如シ若クハ幾許ノ視力ヲ失ヒ或ハ聽覺缺如シ若クハ幾許ノ聽覺ヲ失ヒ)永久服役(或ハ現役)ニ堪ヘ難キ者ト診斷ス

明治 年 月 日 職官(軍醫) 官 氏 名 印  
臨監鎮守府軍醫長 官 氏 名 印  
疾病ニ係ル診斷證書ノ書式ハ本證書ニ準ス

備考 入院患者ニアリテハ病院長之ヲ作ルモノトス

第八書式 (用紙美濃紙)

履歷書

何府何市區何町何番地士族(平民)  
何縣何郡何市何區何町何番地寄留  
職官 氏 名  
何年何月何日生

明治何年何月何日 海軍何等兵(夫)申付(任何官) (任官ノ文官ニ係ルモ應ヲ任官ノ下ニ一々記載スヘシ)ノハ其任命シタル官







屯田兵條例自第一條至第四條

書ヲ添ヘ其受領ノ當日限リ海軍省ニ願出ツ地方ニ在ル受領者ヘシハ地方廳ヲ經テ

勅令第百八十一號 (明治二十三年八月二十九日)

屯田兵條例

- 第一條 屯田兵ハ屯田歩兵屯田騎兵屯田砲兵屯田工兵ヲ以テ編成シ北海道樞要ノ地ニ配置シテ其警備ニ充ツ
- 第二條 屯田兵ハ兵農相兼ヌルノ制トス平常ハ給與ノ兵屋ニ居住シ軍事上ノ訓練及開墾耕耘ニ從事セシム
- 第三條 屯田兵ハ府縣ヨリ志願者ヲ召募シ本籍ヲ北海道ニ移シ家族ト共ニ移住セシム
- 第四條 屯田兵ノ服役期限ハ二十箇年ニシテ現役八箇年後備役十二箇年トス後備役中ハ戰時若クハ事變ニ際シ召集ス又平時ニ在テハ勤務演習ノ爲メ召集シ及簡閱點呼ヲ爲ス

廿七年七月  
勅令第七  
九十四號  
參看

屯田兵ニシテ召募ノ條件ニ違背シ其ノ他正當ノ理由ナクシテ兵役ノ義務ヲ履行セサル者ハ兵役ヲ免ス

第五條 後備役滿期後十箇年間補充兵役ニ服セシメ戰時若クハ時變ニ際シ召集ス

第六條 第四條第五條ノ各兵役年期ハ編入年ノ四月一日ヨリ起算ス

第七條 各兵役ノ期限既ニ滿ツルト雖モ戰時或ハ事變ニ際スルトキ若クハ臨時ニ演習或ハ觀兵ノ擧アルトキ若クハ航海中或ハ外國駐劄中ハ其期限ヲ延スコトアル可シ

附則

第八條 明治二十七年以前ニ召募シタル屯田兵ハ左ノ區別ニ依リ服役セシム

一 明治八年ヨリ明治十六年迄ニ召募シタル者ハ明治二十四年ヨリ四箇年間豫備役ニ服セシメ滿期後九箇年間後備役ニ服セシム

一 明治十七年ヨリ明治二十年迄ニ召募シタル者ハ明治二十四年ヨリ四箇年間豫備役ニ服セシメ滿期後九箇年間後備役ニ服セシム

屯田兵條例自第五條至第八條



- 一 明治二十一年ニ召募シタル者ハ明治二十五年ヨリ四箇年間豫備役ニ服セシム滿期後召募ノ年ヨリ起算シ二十年ニ滿ツル迄後備役ニ服セシム
- 一 明治二十二年以後明治二十四年以前ニ召募シタル者及明治二十五年以後明治二十七年以前ニ召募シタル騎兵、砲兵、工兵ハ三箇年間現役ニ四箇年間豫備役ニ三箇年間後備役ニ服セシム
- 一 明治二十五年以後明治二十七年以前ニ召募シタル歩兵ハ七箇年間現役ニ三箇年間後備役ニ服セシム
- 第九條 前條ノ各兵役年期ノ起算方ハ本條例第六條ニ依ル
- 第十條 豫備服役中ハ戰時若クハ事變ニ際シ召集ス又平時ニ在テハ勤務演習其ノ他特ニ公務ニ服セシムル爲メ召集ス

陸軍省令第六號 (明治二十七年五月二十一日)

屯田兵召募規則

- 第一條 屯田兵ハ志願者中召募檢査ニ合格シタル者ヨリ採用シ毎年四月ニ於テ移住セシム
- 第二條 屯田兵召募檢査ハ其年ノ召募區域内ニ於ケル大隊區司令官又ハ警備隊區司令官之ヲ行フ
- 第三條 屯田兵召募區域及其人員ハ召募スヘキ前年ニ於テ之ヲ告示ス
- 第四條 屯田兵志願者ハ前條ノ告示ニ依リ其年ノ八月三十一日迄ニ第一書式ノ願書ニ第二第三第四書式ノ履歷書、戶籍明細書、家族身體證明書ヲ添ヘ市町村長東京京都大阪ノ三市ニ在テハ區長以下之ニ倣フニ差出スヘシ
- 第五條 市町村長前條ノ願書ヲ受領シタルトキハ第五書式ニ依リ志願者ノ身元證明書ヲ作り願書ニ添ヘ府縣廳町村長ハ島司郡長ヲ經テニ差出シ府縣廳ニ於テハ之ヲ審査シ更ニ
- 第六書式ノ連名簿ヲ作り九月三十日迄ニ當該大隊區司令部又ハ警備隊區司令部ニ送附シ願書、履歷書、戶籍明細書及家族身體證明書ハ同時ニ屯田兵司令部ニ發送スヘシ



第六條 大隊區司令官又ハ警備隊區司令官前條ノ連名簿ヲ受領シタルトキハ島司郡市長ニ協議シ検査場ヲ定メ検査日割ヲ島司郡市長ニ通知シ島司郡長ハ之ヲ町村長ニ達シ其當日ニ至レハ市町村吏員ヲシテ志願者ヲ引纏メ検査場ニ出頭セシムヘシ但志願者ニハ第二書式履歷書ノ寫ヲ携帯セシムヘシ志願者検査場ヘノ往復旅費並滞在日當ハ之ヲ給セス

第七條 屯田兵志願者願書ヲ差出シタル後自己及家族ノ身上ニ異動ヲ生シタルトキハ書面ヲ以テ 志願者ノ死亡失踪處刑 市町村長及島司郡長ヲ經テ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ届出ヘシ

大隊區司令官又ハ警備隊區司令官前項ノ届書ヲ受領シタルトキハ之ヲ屯田兵司令官ニ通報スヘシ

第八條 屯田兵召募検査終レハ大隊區司令官警備隊區司令官ハ第八書式ノ検査成績表不合格者ヲ除ク及第九書式ノ里程表ヲ作り十二月三十一日迄ニ到達ノ時日ヲ測リ之ヲ屯田兵司令官ニ送附スヘシ但里程表ノ調製ハ第十附表屯田兵集合地名表ニ基クヘシ

シ

屯田兵司令官ハ検査成績表及第五條ノ書類ヲ審査シ採用スヘキ者ト豫備員トヲ定メ其人名簿並採用スヘキ者ノ集合地ヘ參集期日ヲ大隊區司令官警備隊區司令官ニ通知シ同官ハ第六條ノ手續ニ依リ之ヲ本人ニ告達シ又府縣廳ニ通知スヘシ

第九條 屯田兵移住ノ際ハ府縣知事吏員ヲ其集合地ニ派遣シ屯田兵受領員ニ引渡サシメ且其宿泊乘車乘船等ニ係ル取扱ヲ補助セシムヘシ

第十條 屯田兵ニ採用スヘキ者ノ資格ハ左ノ如シ

一 年齢 滿十七年以上二十五年以下 召募年ノ四月一日ヲ以テ算スノ者

但陸軍各兵科豫備後備在役ノ下士上等兵ハ滿三十年以下ノ者

二 身長 五尺以上ノ者

但年齢二十年未滿ニシテ發育ノ見込アル者ハ四尺九寸以上

三 體質 强健ニシテ兵農ノ動作ニ堪ユル者

第十一條 前條ノ資格アル者ト雖モ左ノ事項ニ該ル者ハ採用セス

屯田兵召募規則自第九條至第十一條



- 一 陸海軍現役兵及海軍豫備兵後備兵
  - 二 一家中耕稼ノ勞働ニ堪ユル強壯者 養子ニシテ入籍後第四條ノ出願時期迄ニ一箇年ニ滿タサル者ハ除ク 本人ヲ併セテ三人ニ滿タサルモノ
  - 三 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者及家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケ未タ復權ヲ得サル者並其處分ヲ受ケスト雖モ移住迄ニ負債ヲ辨償シ得サル者
  - 四 素行修マラサル者
  - 五 禁錮ノ刑ニ處セラレタル者
  - 六 養子ニシテ入籍後第四條ノ出願時期迄ニ一箇年ニ滿タサル者
  - 七 召募區域内ニ本籍ヲ定メ第四條ノ出願時期迄ニ一箇年ニ滿タサル者
- 第十二條 屯田兵志願者ノ身體檢査ハ陸軍志願兵身體檢査規則ニ依ル屯田兵志願者身體檢査醫官ハ檢査場最寄衛戍地在職ノ軍醫ヲ派シテ之ニ任セシム之カ爲メ大隊區司令官ハ豫メ檢査日割及檢査場ヲ師團長ニ上申シ軍醫ノ派遣ヲ申請スヘシ但警

備隊區ニ在テハ警備隊區司令官ヨリ警備隊司令官ニ軍醫ノ派遣ヲ請求スルモノトス

前項ノ軍醫ハ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ノ指揮ヲ受クルモノトス

第十三條 屯田兵ニ採用ノ達ヲ受ケタル者ハ直ニ家族<sup>成年以上ノ者</sup>ト共ニ第七書式ノ誓文書ヲ作り市町村長及島司郡長ヲ經テ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ差出スヘシ

前項ノ誓文書ハ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官之ヲ取纏メ屯田兵司令官ニ送附スルモノトス

第十四條 屯田兵ニ採用スヘキ者ノ支度料旅費日當及運搬料ハ屯田兵司令部ヨリ大隊區司令部又ハ警備隊區司令部ニ送附スヘシ

大隊區司令部又ハ警備隊區司令部前項諸費ノ送附ヲ受ケタルトキハ之ヲ本人ニ支給スヘシ

第十五條 屯田兵ニ採用ノ達ヲ受ケタル者ニシテ移住前戸主トナラサル者若クハ第



十一條ニ該當シ又ハ失踪死亡等ノ事故ヲ生シタルトキハ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官其採用ヲ取消シ豫備員ヲ以テ之ヲ補充シ其旨ヲ屯田兵司令官ニ通報スヘシ但其採用ヲ取消シタル者既ニ支度料旅費日當及運搬料支給後ニ係ルトキハ之ヲ返納セシムヘシ

第十六條 疾病其他正當ノ事故ニ由リ指定ノ期日ニ移住シ難キ者アルトキハ期日ヲ定メ疾病ニ罹ル者ハ醫師ノ診斷書其他ノ事故ニ係ル者ハ憲兵警察官若シハ市町村長ノ證明書ヲ添ヘ戶主ヨリ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ移住ノ猶豫ヲ願出ヘシ但本文ノ事故止ミタルトキハ大隊區司令部又ハ警備隊區司令部ニ就キ旅費日當ヲ受領シ直ニ出發スヘシ

大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ於テ前項ノ許可ヲナストキハ其旨ヲ屯田兵受領員ニ通報スヘシ

第十七條 臨時屯田兵ノ缺員ヲ補充スルノ必要アルトキハ屯田兵服役者ノ家族中男子ニシテ分籍ヲ志願スル者ノ内ヨリ採用スルコトアルヘシ

前項ノ場合ニ在テハ本規則第十條乃至第十三條ノ例ニ準據ス

第十八條 移住者ノ荷物ハ一戸ニ付八箇以內トシ一箇ノ重量ハ九貫目以內トス但左

ニ掲クル物件ハ携帯スルヲ許サス

- 一 長持若クハ之ニ等シキ體積ノモノ
- 二 大形ノ箆筒若クハ之ニ類スルモノ
- 三 漬物若クハ流動物ヲ入レタル樽ノ類
- 四 甕若クハ臼類
- 五 危險物
- 六 以上掲クルモノ、外取扱ノ困難ナルモノ

附則

第十九條 本令施行期限以前從前ノ規定ニ依リ願書ヲ府縣廳ニ差出シタルモノハ之ヲ受理ス

第二十條 市制町村制實施セサル地方ニ在テハ本規則中市町村長ノ職務ハ區戶長ニ



於テ之ヲ行フヘシ

第一書式 用紙美濃紙

屯田兵服役願

某 儀

屯田兵志願ニ付御檢査ノ上御採用被下度然ル上ハ家族一同北海道へ移住シ共ニ御規則嚴重ニ相守リ可申仍テ別紙履歷書戶籍明細書及家族身體證明書相添へ此段奉願候也

年號月日

族籍(戶主ニ非ル者ハ某子弟等)

產地

姓 名 印

住所

年 號 月 日 生  
何年四月何年何箇月

屯田兵司令官姓名殿

右之通願出候ニ付取調候處相違無之候也  
年號月日 何府(縣)何市(何郡何町(村))長姓 名 印

第二書式 用紙美濃紙

一 志願者戶主ニ非ルトキハ戶主連署スヘシ

履 歷 書

族籍(戶主ニ非ル者ハ某子弟等)

何年何月種痘(天然痘)

姓 名

年 號 月 日 生  
何年四月何年何箇月

- 一 何年月日ヨリ何年月日マテ何學校(塾)入學何科卒業(何學修業)
  - 一 何年月日ヨリ何年月日マテ何學研究(商業)ノ爲メ何處留學(滞在)
  - 一 何年月日何官(何職)任(免)何省何府縣廳
  - 一 何年月日ヨリ何業ニ從事何年間繼續後何々ニ轉業目下何々業
  - 一 何年月日何々ニ依リ賞典何々下賜
  - 一 何年月日何々ノ科ニ依リ何罰申付ラル
- 右之通相違無之候也

年號月日

本人 姓 名 印

- 一 書式ニ示ス外履歷ニ係ルモノハ悉ク記スヘシ
- 一 志願者戶主ニ非ルトキハ戶主連署スヘシ

屯田兵召募規則第二書式



第三書式 用紙美濃紙

戶籍明細書		何府(縣)何市(郡)何町(村)族籍職業	
戶主	年 號 月 日 生	何府(縣)何市(郡)何町(村)何某女	祖 父
何府(縣)何市(郡)何町(村)何某女	祖 母	祖 父	同 上
癡疾不具等	實(養)父	同 上	同 上
何府(縣)何市(郡)何町(村)何某女	實(養)母	同 上	同 上
何府(縣)云々	妻	同 上	同 上
(養子ナレハ)何年何月入籍	何男(何女)(養子女)某	同 上	同 上

陸海軍現役兵海軍豫後備兵  
ナレハ何年何月日何役満期

兄(弟)(姉)(妹) 某

右之通ニ候也

年號月日

本人 姓 名 印

右取調候處相違無之候也

年號月日 何府(縣)何市(郡)何町(村)長姓 名 印

- 一 戶主ト異ナル業務ニ從事スル者又ハ特別ノ技能ヲ有スル者ハ名ノ上ニ何業ニ從事何々ヲ能クスル等記スヘシ
- 一 志願者戶主ニ非ルトキハ戶主連署スヘシ

第四書式

家族身體證明書

- 一 父 某 體格強壯ニシテ勞働ニ堪ユ○何歳ノ時何病ニ罹リシコトアリ
- 一 妻 某 體格稍虛弱○幼時ヨリ大患ニ罹リシコトナシト雖モ四年来歇斯的里症ヲ患フ○現今時々頭痛胃瘧等ノ症アリテ爲メニ連日業務ヲ廢スルコトアリ

屯田兵召募規則第四書式



屯田兵召募規則第五書式

三六〇

一 弟 某 體格強壯○生來大患ニ罹リシコトナシ○本月何日來肺  
 義膜炎ニ罹リ目下何々ノ症アリ豫後ト知シ難シ  
 (以下前例ニ倣フ)

右診查ノ上及證明候也

住所族籍 姓 名 印  
 年號月日 醫 姓 名 印  
 右之通ニ候也 族籍 本人 姓 名 印  
 年號月日

第五書式

一 本書ノ家族ハ十五歳以上六十歳未滿ノ者ニ限ル

身元證明書

族籍(戸主ニ非ル者ハ某子弟等)  
 姓 名

一 身代限ノ處分又ハ家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケタルコト  
 ナシ(身代限ノ處分ヲ受ケシモ既ニ負債ノ辨償ヲ了ル)(家資  
 分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケシモ既ニ復權ヲ得タリ)

一 現今負債ナシ(現今幾許ノ負債アリト雖モ移住前ニ辨償シ得

第六書式

ル見込ナリ)

一 陸海軍現役兵海軍豫備兵後備兵ニ非ラス

一 禁錮ノ刑ニ處セラレタルコトナシ

一 品行方正

一 召募區域内ニ本籍ヲ定メ出願時期迄ニ己ニ一箇年ヲ經過セリ

一 入籍後出願時期迄ニ己ニ一箇年ヲ經過セリ(養子ナレハ)

一 家族中禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ノ有無(某何々ノ罪ニ由リ  
 處セラレハ目下  
 拘留中、刑期中等)

右之通ニ候也

年號月日 何府(縣)何市(何郡何町(村))長姓 名印

屯田兵志願者連名簿

產地	住所	族籍	家族人員	誕生	姓名
何縣何市何府何町	何町	士族	大 中 小	〇何年何月何日	戸主 何 某

屯田兵召募規則第六書式

三六一



屯田兵召募規則第七書式

三六二

何縣何郡何縣何郡	平民	四	一	一	何年何月何日	某二男	何	某
何村	何町							

- 一 家族人員ノ區畫中大ハ十五歲以上六十歲未滿ノ者ヲ記シ中ハ六十歲以上及七歲以上十五歲未滿ノ者ヲ記シ小ハ七歲未滿ノ者ヲ記スヘシ
- 一 志願者戸主ニ非ルトキハ姓名ノ肩ニ戸主ノ續柄(某子弟等)ヲ記スヘシ

第七書式 用紙美濃紙

誓文

今般何某屯田兵ニ御採用相成候ニ付テハ家族一同北海道へ移住シ共ニ御規則嚴重ニ相守リ誓テ兵農ニ從事可仕且服役中ハ決シテ自ラ免役ヲ請願致シ候等ノ儀仕間敷尙ホ左ノ條々堅ク相守リ聊カ違背不仕候仍テ家族連署誓文如件

- 一 服役中年齡滿限若クハ死亡其他ノ事故ニ由リ免役ト爲ルトキハ子弟(子弟ナキトキニ於テ家名相續致シ本人ノ服役殘期)

- 二 戸主ハ家族ヲ訓戒誘導シ家族ハ戸主ヲ輔ケ一家ノ業務ニ從事シ特ニ戸主出務ノ間ハ家族中ノ年長者ニ於テ一切ノ取締ヲ爲シ戸主ヲシテ内顧ノ憂ナカラシムル様可致事
- 三 官給ノ土地ヲ墾成セサル間ハ一意農業ニ從事シ許可ヲ得スシテ他所ニ寄寓シ或ハ他ノ事業ニ從事スル等ノコト致ス間敷事
- 四 時々ノ御達並ニ訓旨等ハ家族ニ至ルマテ嚴重ニ遵守可仕事

年號月日

本人 何 某印  
 同人父 何 某印  
 同人母 何 某印(捺印)

第八書式

檢査成績表		何大隊區(警備隊區)	
住所	職業	兵役	年齡
何郡何村農	豫備何年何甲(乙)	(後備)箇月種	五尺(上)中(下)志探確實
身長	教育ノ程度	事項	姓名
何	何	何	某

屯田兵召募規則第八書式

三六三







第五	第四										第三					秋田	新發田	柏崎	名古屋	津島	岐阜	豊橋	静岡	金澤	富山	福井	大坂	和歌山	大津	京都	姫路	岡山	神戶	福知山	廣島	山口	松江	尾道
	尾道	境	馬關	廣島	宮津	神戶	敦賀	伏木	清水	四日市	新瀨	土崎																										

第六

長崎	福岡	佐賀	小倉	鹿兒島	宮崎	大分	熊本	高知	徳島	九龍	松山
對島	博多	門司	鹿兒島	細島	大分	三角	高知	徳島	多度津	三ツヶ濱	

一 本表中盛岡大隊區ノ内宮城縣登米本吉栗原ノ三郡ハ萩ノ濱ニ其他ノ郡市ハ青森トス

一 一師管中某大隊區ヲ限リ召募スルトキハ臨時集合地ヲ指定スルコトアルヘシ

一 人員寡少若クハ其他ノ都合ニ由リ必要ト認ムルトキハ屯田兵司令官一時本表ノ集合地ヲ變更スルコトヲ得



法律第七十九號 (明治二十三年九月五日)

屯田兵土地給與規則

第一條 屯田兵トシテ北海道ニ移住スル者ニハ一戸凡ソ一萬五千坪ノ土地ヲ給ス其下士ニ任セラレタルトキハ凡ソ五千坪ノ土地ヲ増給ス

屯田兵出身ニアラサル下士ニシテ屯田兵條例ニ依リ服役スル者ニハ凡ソ二萬坪ノ土地ヲ給ス

第二條 移住ノ屯田兵二百五十戸以內ヲ以テ屯田兵村トシ一戸凡ソ一萬五千坪ノ割合ヲ以テ戸數ニ應シ其ノ村ノ公有財産トシテ土地ヲ給ス

公有財産ノ管理用并ニ開墾ノ事ハ屯田兵司令官ノ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 屯田兵及屯田兵村ニ給與シタル土地ハ服役中及其滿期ノ年ヨリ十年間國稅及地方稅ヲ免除ス

第四條 移住ノ年ヨリ三十年間ハ屯田兵ニ給與シタル土地ノ讓渡若ハ質入書入ハ無効トス且強制執行ヲ之ニ施スコトヲ得ス

第五條 屯田兵ニ給與シタル土地ニシテ移住ノ年ヨリ三十箇年ヲ過キテ開墾セサル部分ハ沒收ス

第六條 屯田兵ニシテ召募ノ條件ニ違背シ其他正當ノ理由ナクシテ兵役ノ義務ヲ履行セサルトキハ其ノ給與シタル土地ヲ沒收ス

前項ニ依リ土地ヲ沒收スルトキハ給與ノ建物及其ノ土地ニ定著スル給與ノ物件併セテ之ヲ沒收シ其ノ他ノ建物及物件ハ期限ヲ定メテ之ヲ取除カシム若期限迄ニ取除カサルトキハ競賣ニ附シ其ノ費用ヲ引去リ殘額ヲ交付ス

第七條 從前北海道ニ移住シタル屯田兵ニ給與ノ土地本則第一條ノ坪數ニ及ハサルモノハ之ニ滿ツル迄追給ス

其ノ屯田兵村ニハ公有財産トシテ土地ヲ給ス其坪數及管理ノ方法等ハ本則第二條ノ例ニ依ル

第八條 從前北海道ニ移住シタル屯田兵又屯田兵村ニ給與ノ土地ハ服役中及其滿期ノ年ヨリ二十年間國稅及地方稅ヲ免除ス

廿八年三月  
勅令第三  
二十五號  
參看



明治十七年ヨリ同二十三年マテニ召募シタルモノニ係ルモノハ第三條ノ例ニ依ル

勅令第九十六號 (明治二十七年七月十一日)

屯田兵移住給與規則

第一條 屯田兵及其ノ家族移住ノ際ハ支度料、旅費日當、運搬料トシテ左ノ金額ヲ給與ス

- 一 支度料 一戸ニ付五圓
  - 二 旅費日當 一人一日ニ付三十錢 七歳未満ハ半額
  - 三 運搬料 一戸一日ニ付二圓六十錢
- 第二條 旅費日當及運搬料ハ一日行程ヲ十里詰トシ給與ス  
一里以上六里未満ハ半額、六里以上ハ全額ヲ給與ス但一海里ハ陸路十六町九分七厘五毛ニ改算ス

第三條 集合地ヨリ移住地迄ノ旅行ニ關スル費用ハ官ニ於テ仕拂フモノトス

第四條 疾病其ノ他正當ノ事故ニ由リ居残り若クハ途中ニ於テ滞在シ他日移住地ニ至ル者ノ旅費日當及運搬料ハ移住地迄順路ニ依リ給與ス

疾病其ノ他正當ノ事故ニ由リ途中ニ於テ滞在シタルトキハ一人一日ニ付三十錢 七歳未満ハ半額ノ日當ヲ給與シ其ノ傷痕ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ醫師又ハ病院ニ於テ治療ヲ受ケタル者ハ診斷料、治療費及入院料 入院料ヲ給與スルトキハ日當ヲ給與セスハ實費ヲ給與ス但傷痕ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタル者ハ醫師ノ診斷書、其ノ他ノ事故ニ由リタル者ハ憲兵、警察官若クハ市町村吏員ノ證明書ヲ差出スヘシ

第五條 屯田兵移住シタルトキハ兵屋、井戸 属具、家具、夜具、農具、種物、扶助米及鹽菜料ヲ給與ス但井戸及屬具ハ實際ノ景況ニ由リ二戸以上ニ一箇ヲ給與スルコトヲ得

移住後滿三箇年間に於テ變災ノ爲メ前項ノ兵屋、家具、夜具及農具ヲ亡失若クハ破損シ其ノ用ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ更ニ之ヲ給與スルコトヲ得

第六條 家具ハ一戸ニ付左ノ現品ヲ給與ス